

附属資料

- ① 主要目標
- ② 策定経過
- ③ 主な個別計画等一覧
- ④ SDGs*（持続可能な開発目標）との関係
- ⑤ 公共事業の主な整備箇所一覧
- ⑥ 達成目標一覧
- ⑦ 用語解説

① 主要目標

県組織を挙げて県民と共に取り組む代表的な目標を、40の「主要目標」として掲げます。

この目標は「第4編 施策の総合的展開」のみならず、「第5編 新時代創造プロジェクト」や「第6編 地域計画」で掲げる取組もあいまって達成を目指すものです。

1 持続可能で安定した暮らしを守る

	指標名	現状	目標	備考
1	再生可能エネルギー生産量 (環境部調)	2.9万TJ (2020年度)	3.7万TJ (2027年度)	県内で生み出したと推計される再生可能エネルギー量 [長野県ゼロカーボン戦略の2030年度達成目標に基づき設定]
2	新築住宅におけるZEHの割合 (建設部調)	—	90% (2027年度)	新築住宅のうち、ZEH水準以上の性能を有する住宅の割合 ※県条例に基づく届出・報告制度が2023年度から開始するため現状値なし [長野県ゼロカーボン戦略の2030年度目標に基づき設定]
3	民有林における造林面積 (林務部調)	277ha (2021年度)	1,000ha (2027年度)	民有林において伐採地等に植栽した面積 [森林資源の循環利用を進めるため、造林面積を段階的に増やすことを目標に設定]
4	災害時要配慮者の「個別避難計画」を作成している市町村の割合 (健康福祉部調)	44.2% 34市町村 全国41位 (2022年)	100% 77市町村 全国1位 (2028年)	災害時要配慮者(障がい者、高齢者等)に関する個別避難計画を、策定済又は一部策定済としている市町村の割合 [全市町村が策定済もしくは一部策定済となることを目標に設定]
5	緊急又は早期に対策が必要な橋梁・トンネルにおける修繕等の措置完了率 道路メンテナンス年報(国土交通省)	橋梁 23.0% トンネル 75.0% (2021年度)	100% (2027年度)	2014～2018年度の点検で緊急又は早期に対策が必要と確認された橋梁・トンネルのうち修繕等の措置が完了した割合 [全ての橋梁・トンネルの修繕等が完了することを目標に設定]
6	公共交通機関利用者数 (企画振興部調)	69,077千人 (2020年度)	100,000千人 (2026年度)	鉄道・乗合バス・タクシーの輸送人員の合計 [コロナ前水準(2019年:98,307千人)を上回ることを目標に設定]
7	健康寿命(日常生活が自立している期間の平均) (国民健康保険中央会)	男性 81.1年 全国2位 女性 85.2年 全国1位 (2020年)	全国1位 (2026年)	日常生活動作が自立している(介護保険の要介護度1以下)期間の平均 [全国1位を目指して目標を設定]
8	医療施設従事医師数 (人口10万人当たり) 医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	243.8人 (2020年)	264.6人 (2026年)	人口10万人当たりの医療施設従事医師数 [現状の全国平均(256.6人)を2029年に上回る目標(275人)に基づき設定]

	指標名	現状	目標	備考
9	交通事故死者数 (県警察本部調)	46人 (2022年)	45人以下 (2025年)	交通事故による死者数 [国の交通安全基本計画等を基に設定] ※2026年以降の目標値は次期長野県交通安全計画の策定にあわせて設定予定
10	自殺死亡率(人口10万人当たり) 人口動態統計(厚生労働省)	16.3人 (2021年)	12.2人以下 (2027年)	1年間の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数) [自殺死亡率の現状と国の自殺総合対策大綱を基に目標を設定]

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

11	労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	7,125千円/人 (2020年度)	2020年度比 +11.2% (2025年度)	県内総生産(実質)を県内就業者数で除した数値 ※現状値は、2019年度の県内総生産と2020年度の国内総生産から試算 [国の経済成長目標や本県の人口の見通し等を参考として目標を設定]
12	製造品出荷額等 経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)	60,431億円 (2020年)	2020年比 +10.6% (2025年)	製造業の製造品出荷額、加工賃収入額等の合計 [国の経済成長目標等を参考として目標を設定]
13	会社開業率 民事・訟務・人権統計年報(法務省)、国税庁統計年報書(国税庁)	2.9% (2021年)	5% (2027年)	前年の会社数に対する設立登記数の割合 [全国平均(2021年:4.7%)以上を目標に設定]
14	農業農村総生産額 生産農業所得統計、6次産業化総合調査(農林水産省)、農政部調	3,579億円 (2020年)	3,700億円 (2027年)	農産物産出額と農業関連産出額の合計額 [収益性の高い品種への転換など品目ごとの生産振興策を基に現状を上回る目標を設定]
15	林業産出額(うち木材生産) (林務部調)	5,209百万円 (2020年)	7,170百万円 (2027年)	林業産出額のうち、木材生産による産出額と木質バイオマスに利用される木材の生産額の合計 [今後見込まれる主伐や木材利用の増加を見込み設定]
16	県民一人当たり家計可処分所得 県民経済計算(企画振興部)	2,516千円/人 (2020年度)	2020年度比 +10.2% (2025年度)	家計の可処分所得を県内総人口で除した数値 ※現状値(2020年度)は、2019年度の県内総生産と2020年度の国内総生産から試算 [国の経済成長目標や本県の人口の見通し等を参考として目標を設定]
17	県産農畜産物の輸出額 (農政部調)	17.7億円 (2021年度)	28億円 (2027年度)	県産農畜産物の輸出額 [施策効果や県内の生産状況、海外マーケットのニーズを踏まえ、目標値を設定]
18	加工食品の輸出額 (産業労働部調)	71.8億円 (2021年)	124億円 (2027年)	県内で生産された加工食品の輸出額 [主な輸出事業者の動向及び県の施策の効果を踏まえ、目標値を設定]
19	就業率(15歳以上人口) 労働力調査モデル推計値(総務省)	62.4% (2021年)	64.9% (2027年)	15歳以上人口に占める就業者数の割合 [直近5年間(2017~2021年)の全国1位(いずれも東京都)の平均値を目標に設定]

	指標名	現状	目標	備考
20	県内出身学生のUターン就職率 Uターン就職状況等に関する調査（産業労働部）	36.5% (2022年3月卒)	45%以上 (2027年3月卒)	県外に進学した県出身学生の県内就職率 [県外進学者の約半数がUターンすることを目標として目標を設定]

3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

21	県に対してオンラインで実施できる行政手続の割合 (企画振興部調)	25% (2022年度)	100% (2027年度)	年間100件以上の県民等の県への申請等手続のうち、オンラインで実施できるものの割合 [全ての手続で実施できるようにすることを目標として目標を設定]
22	信州まつもと空港利用者数 (企画振興部調)	130千人 (2021年度)	267千人 (2027年度)	信州まつもと空港発着便（定期便・チャーター便）の年間利用者数 [国内路線の拡充、国際路線の新規開拓などにより、過去の最高値（1996年度：265千人）を上回ることを目標として目標を設定]
23	社会増減（累計） 毎月人口異動調査（企画振興部調）	△4,132人 (2018～2022年の累計)	+2,700人 (2023～2027年の累計)	長野県への転入者数と長野県からの転出者数の差 [国内移動・国外移動及び日本人・外国人の直近の社会動態や今後の予測に加え、移住者数の目標値を織り込み、5年間の累計目標を設定]
24	移住者数 (企画振興部調)	2,960人 (2021年度)	4,500人 (2027年度)	県外からの転入者数（新規学卒Uターン就職者や数年内の転出予定者などを除く） [直近4年間の伸び率を維持し、過去最高値（2021年度：2,960人）の1.5倍以上を目標に設定]
25	観光消費額 共通基準に基づく観光入込客統計（観光部）	5,154億円 (2021年)	9,000億円 (2027年)	県内で旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計 [過去最高となっていたコロナ前水準（2019年：8,769億円）を基準とし、国際機関による予測や国ビジョンの目標水準を上回る目標を設定]
26	外国人延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査（観光庁）	6.3万人泊 全国12位 (2021年)	207万人泊 (2027年)	県内の旅館やホテルなどに宿泊した外国人の延べ人数 [過去最高となっていたコロナ前水準（2019年：158万人泊）を基準とし、国際機関による予測や国ビジョンの目標水準を上回る目標を設定]
27	信州アーツカウンシルの支援等団体数 (県民文化部調)	165団体 (2022年度) ※見込み	350団体 (2027年度)	信州アーツカウンシルが支援する団体数 [毎年度40団体程度の増加を目標に設定]
28	運動・スポーツ実施率 (教育委員会事務局調)	60.8% (2021年度)	70% (2027年度)	週1日以上運動・スポーツをする成人の割合 [国の目標に準拠して目標を設定]

4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

29	出生数 人口動態統計（厚生労働省）	12,514人 (2021年)	13,400人 (2027年)	1年間の出生数 [県民希望出生率である1.61を実現した場合に想定される出生数を目標に設定]
30	婚姻数 人口動態統計（厚生労働省）	7,347組 (2021年)	8,750組 (2027年)	1年間の婚姻数 [独身者の結婚希望がかなった場合に想定される婚姻数を目標に設定]

	指標名	現状	目標	備考
31	信州こどもカフェ設置数・設置市町村数 (県民文化部調)	159 箇所 46 市町村 (2021 年度)	270 箇所 77 市町村 (2027 年度)	信州こどもカフェの設置数と設置している市町村数 [10 年間で県内小学校数と同じ 356 箇所設置する目標に基づき、現状値から 50%増加するとともに、全市町村への普及を目指して目標を設定]
32	法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数 長野県内の「障害者雇用状況」の集計結果 (長野労働局)	7,351 人 (2022 年)	8,455 人 (2027 年)	従業員に占める身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の割合を法で定められた雇用率以上にする義務がある企業で雇用される障がい者数 [2022 年実績で、全ての法定雇用率適用企業が法定雇用率を達成した場合に雇用される障がい者の人数を目標に設定]
33	一般労働者の総実労働時間 毎月勤労統計調査 (厚生労働省)	1,952.4 時間 (2021 年)	1,885 時間 (2027 年)	パートタイム労働者を除く常用労働者の年間労働時間 [国の計画等に準じて休日・休暇を取得し、法定労働時間以内で勤務した場合に想定される 1 年間の労働時間を目標に設定]
34	県内事業所における管理的職業従事者に占める女性の割合 (産業労働部調)	13.5% (2021 年度)	30% (2027 年度)	管理職 (課長及び部長相当職) に占める女性割合 [国際基準の考えに基づき、女性がマイノリティでなくなるとされる 30%を目標に設定]
35	県の審議会等委員に占める女性の割合 (県民文化部調)	39.0% (2022 年度)	40%以上、 60%以下 (2027 年度)	法令・条例等に基づく審議会・協議会などの委員総数に占める女性の割合 [国の計画に準拠して目標を設定]

5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

36	高校生の海外への留学者率 国際交流状況調査 (教育委員会事務局)	0.03% (2021 年度)	2% (2027 年度)	県内高校から在学中に留学した高校生の割合 [3 年間で前計画の目標値 (1.4%) を達成し、その後、更に向上する目標を設定]
37	信州型自然保育 (信州やまほいく) 認定園数・認定園の所在市町村数 (県民文化部調)	270 園 43 市町村 (2022 年 10 月)	330 園 77 市町村 (2027 年 10 月)	信州型自然保育 (信州やまほいく) の認定園数と認定園の所在市町村数 [県内保育所等の半数が信州型自然保育 (信州やまほいく) を実施し、全市町村で選択できる環境を目標に設定]
38	「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒 (小6、中3) の割合 全国学力・学習状況調査 (文部科学省)	81.1% (2022 年度)	現状以上 (2027 年度)	「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒の割合 (小6と中3の平均) [現状より向上することを目標に設定]
39	信州自然留学 (山村留学) 者数 (企画振興部調)	172 人 (2022 年 4 月)	340 人 (2028 年 4 月)	信州自然留学 (山村留学) を目的に、県内に 1 年以上留学する児童生徒の数 [現状からの倍増を目標に設定]
40	県内大学卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	53.4% (2021 年度)	58% (2027 年度)	県内大学卒業者の就職者数のうち県内就職者数が占める割合 [過去 5 年間の最高値 (2018 年度: 57.2%) を上回ることを目標に設定]

2 策定経過

しあわせ信州創造プラン 3.0 は、総合計画審議会では基本的な考え方を審議いただくとともに、県民・市町村・各種団体等の皆様から幅広く、ご意見・ご提言をお聞きしながら計画案を策定しました。

1 長野県総合計画審議会

計画の策定に当たり、長野県総合計画審議会において計画の基本的な考え方が審議されました。

(1) 諮問（令和3年11月24日）

3 総政第 98 号 令和3年(2021年)11月24日
長野県総合計画審議会 会長 中村 宗一郎 様
長野県知事 阿部 守一
次期総合5か年計画の策定について（諮問）
<p>本県は、平成30年に長野県総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）を策定し、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け、県民の皆様とともに取り組んでいるところです。</p> <p>来年度が計画の最終年度となることから、これまでの取組の成果を踏まえ、更なる充実・深化を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた動き、デジタル化や地方回帰の加速化、人口減少・少子高齢化の進行、新型コロナウイルスの感染拡大による影響など、様々な社会・経済情勢の変化や新たな課題に的確に対応していくため、次期総合5か年計画を策定したいので、長野県附属機関条例第2条の規定により、その基本的な考え方について貴審議会の意見を求めます。</p>

(2) 審議経過

- 第1回（令和3年11月24日）
 - ・基本的な考え方について諮問
 - ・長野県を取り巻く状況、長野県の現状について
- 第2回（令和4年2月14日）書面開催
 - ・現状と課題、未来像、取組の方向性について
- 第3回（令和4年4月25日）
 - ・これまでのご意見の整理
 - ・信州これから会議開催レポート
 - ・AI*を活用した長野県の未来に関するシミュレーション、有識者（京都大学 広井良典教授）による講演
- 第4回（令和4年8月29日）
 - ・しあわせ信州創造プラン2.0政策評価報告書（案）
 - ・政策の方向性 など
- 第5回（令和4年10月17日）
 - ・答申素案について
- 第6回（令和4年11月8日）
 - ・答申案について

令和4年（2022年）11月18日

長野県知事 阿部 守一 様

長野県総合計画審議会
会長 中村 宗一郎

次期総合5か年計画の策定について（答申）

令和3年11月24日付け3総政第98号で諮問のありましたこのことについて、別添のとおり答申します。

この答申は、概ね2035年を展望する中・長期的な視点に立って、今後5年間における長野県づくりの指針となる基本的な考え方を提示するものです。

これまで6回にわたる審議を重ねる中で、本県を取り巻く状況や県政の直面する課題を整理するとともに、多くの県民からの広範な御意見・御提言を踏まえた上でとりまとめました。

計画の策定に当たっては、県当局において、本答申の趣旨に基づき、県づくりの方向性や政策の意図を明確に伝えられるものとなるよう検討を進めてください。あわせて、下記事項に留意の上、速やかに計画を策定し、その着実な推進に努めてください。

記

- 1 施策の構築に当たっては、現行の「しあわせ信州創造プラン2.0」の取組について、新型コロナウイルス感染症による影響なども考慮し、その成果を検証した上で、審議過程での議論や県民の意見を十分踏まえること。
- 2 本答申に示した政策の柱ごとに、そのめざす姿や取組の方向性などを踏まえながら、特に、女性・若者から選ばれる県づくり、脱炭素社会の実現、デジタル社会の実現など、新しい時代に向けて、社会システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を検討し、具体的なアクションを明示すること。
- 3 データに基づく政策形成（EBPM）を推進する観点から実施された「AIを活用した長野県の未来に関するシミュレーション」の結果（別添附属資料2）を十分踏まえ、望ましい未来シナリオに移行するまでの分岐点を意識し、具体的な施策の優先度を検討すること。
- 4 「誰一人取り残さない」という誓いの下、経済・社会・環境の課題の統合的な解決を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識するなど、グローバルな視点を持つこと。
- 5 本答申に示した理念や政策の方向性等を個別の政策分野の計画に反映させ、具体的な施策の実行につなげること。
- 6 地域の強みや特色を伸ばしていくことが、それぞれの地域の発展につながるのと同時に、多様性豊かな長野県の発展につながることから、市町村と連携して、10の広域圏ごとに独自性を発揮する地域計画を策定すること。

7 今後の県づくりの方向性を県民と共有し、共に取り組むための、いわば共創型の総合計画とするため、誰にでも分かりやすく親しみやすい表現とし、県民に対して訴求力の高い媒体による周知に努めるとともに、計画の推進に当たっては、多様なステークホルダーとのあらゆる分野での共創を図ること。

また、県民一人ひとりが、計画の実現に向け主体的に取り組めるよう留意すること。

8 計画を着実に推進できるよう、客観的で分かりやすい達成目標を設定し、毎年度進捗管理を行うとともに、必要に応じて随時見直しを行うこと。

9 特に、以下に掲げる施策について具体的に検討し実行すること。

- ・急速に進行する少子化や人口減少の対策に危機感を持って取り組むこと。
- ・農業、林業の6次産業化などをはじめ、産業全般のデジタルトランスフォーメーション（DX）・グリーントランスフォーメーション（GX）により本県の強みを生かした成長産業を創出するなど、長野県らしい産業構造への転換を図ること。
- ・多様で多彩な人材の創出・好循環に資する環境整備を前に進めること。

（４）長野県総合計画審議会委員名簿

会 長	中村 宗一郎	信州大学 学長
会長職務代理者	牛越 徹	長野県市長会 会長（大町市長）
委 員	安藤 国威	長野県立大学 理事長
//	碓井 稔	長野県経営者協会 会長
//	梅崎 健夫	長野県環境審議会 会長 （信州大学学術研究院（工学系）教授）
//	窪田 英一	長野県私学教育協会 理事長
//	神戸 美佳	弁護士
//	近藤 誠一	長野県文化振興事業団 理事長
//	竹重 王仁	長野県医師会 会長
//	武重 正史	長野県農業協同組合中央会 専務理事
//	中條 智子	長野県連合婦人会 会長
//	根橋 美津人	日本労働組合総連合会長野県連合会 会長
//	野原 莞爾	長野県観光機構 理事長
//	羽田 健一郎	長野県町村会 会長（長和町長）
//	柳澤 玉枝	長野県介護福祉士会 顧問 （長野県社会福祉協議会 理事）

（氏名は五十音順・敬称略、役職名は令和4年11月18日（答申日）時点）

2 県民との意見交換

今後の県づくりの方向性を共有しながら、県民と共に策定・実行する計画とするため、県内外の様々な地域や分野で活躍する方々とコロナ後の信州の未来を語り合うワークショップや、大学生をはじめとする若者との意見交換など、280回を超える意見交換を実施しました。

- (1) 「信州これから会議」(令和3年11月7日～令和4年2月13日)【9回】
県内外の様々な地域や分野で活躍する方々と、「働き方・暮らし方」「文化・スポーツ」「地域コミュニティ」「福祉・子育て」「産業」「学び」の6つのテーマごとにコロナ後の信州の未来を語り合うワークショップを実施。
- (2) 大学生との意見交換
長野県立大学・信州大学とタイアップし、ゼミや授業の一環として長野県の現状や課題を踏まえた施策提言を行うプロジェクトを実施。

○県内大学生との意見交換会(令和4年6月20日)
施策提言を行うプロジェクトに参加している大学生と知事との意見交換を実施。

○県内大学生からの施策提言発表会(令和4年8月10日)
「リニア中央新幹線を契機としたMa a S*の活用」、「総合計画を「教育」から構想する一まちなかで学びあいをー」など多岐にわたるテーマについて、計17チームによる施策提言を実施。
- (3) 首都圏在住の若者との意見交換会(令和4年5月18日)
公募に応じた20～30歳の首都圏在住の方々と知事が、長野県が若者に選ばれるために必要なことなどのテーマについて意見交換を実施。
- (4) 子育て世代との意見交換会(令和4年5月28日)
県内に住む子育て世代の方々と知事が、働き方や子育て環境をはじめとするテーマごとに長野県の未来について意見交換を実施。
- (5) 県政タウンミーティング・ティーミーティング(令和3年12月6日～令和4年10月5日)【6回】
高校生などの若者からシニア層まで、幅広い県民と知事との意見交換を実施。
- (6) 地域懇談会(令和4年1月18日～令和4年8月31日)【34回】
県内の10の広域圏ごとに、各地域の課題や取組の方向性について、各種団体代表者や地域おこし協力隊*、有識者などと地域振興局長との意見交換を実施。
- (7) 拡大版地域戦略会議(令和4年5月11日～令和4年6月9日)【10回】
県内の10の広域圏ごとに、各地域の課題や取組の方向性について、市町村長と知事・地域振興局長との意見交換を実施。
- (8) その他の意見交換(令和3年11月1日～令和4年11月9日)【218回】
各分野での課題や長野県のありたい姿などについて様々な機会を捉え、幅広い県民や各種団体等との意見交換を実施。
- (9) パブリックコメント(令和4年12月26日～令和5年1月24日)【66件】
計画原案について県民意見を募集。

3 有識者による講演

変化が急激で先を見通すことが難しい時代にあって、長野県がめざす姿や取組の方向性等を検討するため、各界から有識者を招いて講演会を実施しました。

- (1) 東京大学名誉教授 神野 直彦 氏（令和3年12月20日）
『長野ヴィジョンを構想するためにーwell-being（快適・幸福）を求めてー』と題し、コロナ後の社会のあり方や今後の政策の方向性などに関する講演を実施。
- (2) 京都大学教授 広井 良典 氏（令和4年4月25日）
『人口減少・成熟社会のデザイン』と題し、人口減少社会の意味、A I *活用による政策提言、「分散型社会＝持続可能な福祉社会のビジョン」などに関する講演を実施。
- (3) 内閣官房参与（社会保障、人口問題担当）、内閣官房全世代型社会保障構築本部総括事務局長 山崎 史郎 氏（令和4年6月30日）
『人口減少と全世代型社会保障について』と題し、人口減少の動向や効果ある少子化対策、人口移動対策などに関する講演を実施。
- (4) 宇沢国際学館代表取締役 占部 まり 氏（令和4年7月7日）
『父・宇沢弘文が提唱した「社会的共通資本」を未来へ』と題し、社会的共通資本*の考え方やゆたかな社会の姿などに関する講演を実施。

③ 主な個別計画等一覧

令和5年2月現在

長野県総合5か年計画の推進に関連する主な個別計画等

No	計画等の名称	計画期間
1 持続可能で安定した暮らしを守る		
1	第五次長野県環境基本計画（仮称・策定中）	R 5～9
2	第七次長野県水環境保全総合計画（仮称・策定中）	R 5～9
3	第二次生物多様性ながの県戦略（仮称・策定中）	R 5～9
4	長野県ゼロカーボン戦略	R 3～12
5	長野県気候変動適応計画	R 3～12
6	2050 ゼロカーボン達成のための「第6次長野県職員率先実行計画」	R 3～12
7	長野県公営企業経営戦略（改定版）	R 3～7
8	長野県希少野生動植物保護基本方針	H15～
9	長野県第13次鳥獣保護管理事業計画	R 4～8
10	諏訪湖創生ビジョン	H30～R20
11	長野県廃棄物処理計画（第5期）	R 3～7
12	第3期長野県強靱化計画（仮称・策定中）	R 5～9
13	長野県地域防災計画	S38～
14	長野県国民保護計画	H17～
15	長野県消防広域化推進計画	H19～
16	長野県流域治水推進計画	R 3～7
17	長野県耐震改修促進計画（第Ⅲ期）	R 3～7
18	第八次長野県総合雪対策計画（仮称・策定中）	R 5～9
19	長野県道路の長寿命化修繕計画	H25～
20	長野県水道ビジョン	H29～R 8
21	長野県「水循環・資源循環のみち2022」構想（仮称・策定中）	R 5～34
22	施設の中長期修繕・改修計画	R 3～12
23	長野県新総合交通ビジョン	H25～R 9
24	第2期信州保健医療総合計画	H30～R 5
25	長野県食育推進計画（第4次）（仮称・策定中）	R 5～9
26	第8期長野県高齢者プラン	R 3～5
27	第3次長野県消費生活基本計画・長野県消費者教育推進計画（仮称・策定中）	R 5～9
28	長野県動物愛護管理推進計画	R 4～12
29	第11次長野県交通安全計画	R 3～7
30	第2次長野県自転車活用推進計画（仮称・策定中）	R 5～9
31	第4次長野県自殺対策推進計画（仮称・策定中）	R 5～9
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する		
32	長野県産業振興プラン（仮称・策定中）	R 5～9
33	信州ITバレー構想	R 1～7
34	信州ワインバレー構想2.0（仮称・策定中）	R 5～14

No	計画等の名称	計画期間
35	第4期長野県食と農業農村振興計画（仮称・策定中）	R 5～9
36	長野県農業農村整備計画（仮称・策定中）	R 5～9
37	長野県農業関係試験研究推進計画（仮称・策定中）	R 5～9
38	長野県森林づくり指針（仮称・策定中）	R 5～14
39	長野県林業労働力確保促進基本計画（仮称・策定中）	R 5～14
40	地域森林計画（伊那谷、千曲川上流、千曲川下流、中部山岳、木曾谷）	地域ごと設定
41	信州ブランド戦略（仮称・策定中）	R 5～
42	長野県営業戦略（仮称・策定中）	年度ごと
43	長野県産業人材育成プラン 2.0（第11次長野県職業能力開発計画）	R 3～7
44	長野県の契約に関する取組方針	H26～
3 快適でゆとりのある社会生活を創造する		
45	第5次国土利用計画（長野県計画）	H28～R 7
46	長野県土地利用基本計画	H30～
47	長野県農村景観育成方針	H25～
48	長野県山村振興基本方針	H27～R 6
49	長野県景観育成計画	H18～
50	長野県都市計画ビジョン	H30～
51	信州まちなかグリーンインフラ推進計画	R 3～
52	長野県住生活基本計画	R 3～12
53	長野県県営住宅プラン 2021	R 3～12
54	長野県DX戦略（仮称・策定中）	R 5～9
55	長野県過疎地域持続的発展方針	R 3～7
56	長野県過疎地域持続的発展計画	R 3～7
57	信州協働推進ビジョン	H25～
58	長野県ファシリティマネジメント基本計画	H29～R 8
59	本州中央部広域交流圏の結節機能強化に向けた今後の方針	H27～
60	信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針	H28～R 7
61	長野県リニア活用基本構想	H25～R 9
62	リニアバレー構想	H27～R 9
63	長野県広域道路交通計画	R 3～
64	信州みちビジョン	H30～R 9
65	道路の整備に関するプログラム	H30～R 9
66	信州暮らし推進の基本方針	R 1～
67	第2次長野県文化芸術振興計画（仮称・策定中）	R 5～9
68	第3次長野県スポーツ推進計画（仮称・策定中）	R 5～9
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる		
69	長野県子ども・若者支援総合計画（仮称・策定中）	R 5～9
70	第二期長野県子ども・子育て支援事業支援計画	R 2～6
71	長野県社会的養育推進計画	R 2～11

No	計画等の名称	計画期間
72	長野県人権政策推進基本方針	H21～
73	長野県犯罪被害者等支援推進計画	R 4～8
74	長野県多文化共生推進指針 2020	R 2～
75	第5次長野県配偶者からの暴力の防止及び被害者のための支援基本計画	R 3～7
76	長野県障がい者プラン 2018	H30～R 5
77	長野県地域福祉支援計画（第2期）（仮称・策定中）	R 5～9
78	長野県再犯防止推進計画（第2期）（仮称・策定中）	R 5～9
79	長野県就業促進・働き方改革基本方針	R 2～ （概ね10年）
80	第5次長野県男女共同参画計画	R 3～7
5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる		
81	第4次長野県教育振興基本計画（仮称・策定中）	R 5～9
82	長野県高等教育振興基本方針	H28～
計画推進の基本姿勢		
83	長野県行政・財政改革方針 2023（仮称・策定中）	R 5～9
84	長野県職員育成基本方針	R 1～

④ SDGs*（持続可能な開発目標）との関係

【施策の総合的展開】

政策の柱	該当する施策	1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
1 持続可能で安定した暮らしを守る	1-1 地球環境を保全する						
	①持続可能な脱炭素社会の創出						
	②人と自然が共生する社会の実現						○
	③良好な生活環境保全の推進			○			○
	1-2 災害に強い県づくりを推進する						
	①災害に強い県づくりの推進	○				○	○
	1-3 社会的なインフラの維持・発展を図る						
	①社会的なインフラの維持・発展						○
	1-4 公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性を向上する						
	①公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上						
	1-5 健康づくり支援と医療・介護サービスの充実を図る						
	①健康づくりの推進		○	○			
	②充実した医療・介護提供体制の構築	○		○			
	1-6 県民生活の安全を確保する						
①県民生活の安全確保	○	○	○	○	○		
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る						
	①成長産業の創出・振興	○	○	○	○	○	○
	②稼ぐ力とブランド力の向上						
	③産業人材の育成・確保				○	○	
	2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する						
	①循環経済への転換の挑戦						
	②地域内経済循環の推進						
	2-3 地域に根差した産業を活性化させる						
①地域の建設業等における担い手の確保の推進				○	○		
②サービス産業等の活力向上		○		○	○	○	
3 快適でゆとりのある社会生活を創造する	3-1 住む人も訪れる人も快適な空間をつくる						
	①地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進		○	○	○		○
	②デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現			○	○	○	
	③地域活力の維持・発展			○	○		○
	④本州中央部広域交流圏の形成						
	⑤移住・交流・多様なかかわりの展開				○		
	⑥世界水準の山岳高原観光地づくりの推進						
	3-2 文化、スポーツの振興などゆとりある暮らしを創造する						
	①文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用			○	○		
	②「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進			○	○	○	

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
エネルギーの持続可能な利用	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを増そう	陸の豊かさもやろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
○		○		○	○	○		○		○
	○				○		○	○		○
				○	○			○		○
		○		○		○		○	○	
	○	○	○	○		○		○	○	
				○						
	○		○	○	○			○	○	○
○	○	○	○		○	○		○		○
	○	○								○
	○	○	○							○
	○	○		○	○	○				○
○	○	○								○
	○	○	○	○				○		○
○	○	○				○		○		○
	○	○	○	○	○			○		
			○	○						○
	○		○	○						○

政策の柱	該当する施策						
		1	2	3	4	5	6
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	4-1 子どもや若者の幸福追求を最大限支援する						
	①若者の結婚・出産・子育ての希望実現	○		○			
	②子ども・若者が夢を持てる社会の創造	○	○	○	○	○	
	4-2 年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会をつくる						
	①年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出	○	○	○	○	○	○
	4-3 働き方改革を推進し、就労支援を強化する						
	①働き方改革の推進と就労支援の強化	○			○	○	
	4-4 女性が自分らしく輝ける環境をつくる						
	①女性が自分らしく輝ける環境づくり				○	○	
	4-5 高齢者の活躍を支援する						
① 高齢者の活躍の支援							
5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	5-1 一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びを推進する						
	① 一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進				○		
	5-2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる						
	①一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	○			○		
	5-3 高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する						
	①高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成			○	○		
	5-4 学びの共創による地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する						
①学びの共創による地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造				○			

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも 経済成長も	産業と技術革新の 基盤をつくらう	人や国の不平等 をなくそう	住み続けられる まちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを 守ろう	陸の豊かさも 守ろう	平和と公正を すべての人に	パートナーシップで 目標を達成しよう
	○		○						○	○
	○		○						○	○
	○		○						○	○
	○		○						○	○
	○	○		○					○	○
	○		○	○					○	○
	○	○						○		○
	○	○		○	○					○

【新時代創造プロジェクト】

プロジェクト名	1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
1 女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト					○	
2 ゼロカーボン加速化プロジェクト						
3 デジタル・最先端技術活用推進プロジェクト			○	○		
4 個別最適な学びへの転換プロジェクト				○		
5 人口減少下における人材確保プロジェクト				○	○	
6 世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現プロジェクト						
7 県内移動の利便性向上プロジェクト						
8 輝く農山村地域創造プロジェクト				○		

7 エネルギーもみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 躍進をつたえよう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくも責任 つくり責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
	○		○							○
○	○	○		○	○	○	○	○		○
	○	○								○
									○	○
	○		○							○
		○			○					○
		○		○						○
		○		○	○			○		○

【地域計画】

地域振興局	地域重点政策	1 健康をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
佐久	1 「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」 確かな生活の基盤づくり			○	○		
	2 「佐久の産業は粒ぞろい」 未来につなげる産業づくり		○				
	3 「教育が人を呼び込む」 首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり						
	地域連携プロジェクト1 浅間山の防災体制の強化						
	地域連携プロジェクト2 中部横断自動車道の整備促進						
上田	1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける 観光地域づくり						
	2 地域を支える産業のグレードアップ		○		○	○	
	3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり	○		○		○	○
	4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり				○		○
諏訪	1 ものづくり・観光・農林業振興		○	○	○		
	2 諏訪湖創生ビジョンの推進		○	○	○		○
	3 ハヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり			○	○		○
	4 脱炭素社会、安全・安心な地域の実現		○	○			
上伊那	1 伊那谷の未来を創る「ひと」づくり				○	○	
	2 誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる 「まち・暮らし」づくり		○	○	○		
	3 人が集い、新たな価値を共創する「つながり」づくり						
	4 22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる「脱炭素社会」づくり						
南信州	1 高速交通網開通の効果を最大限に活かす基盤整備				○		
	2 伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり				○		
	3 地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興		○				
	4 安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり	○		○	○		
木曾	1 林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				○		
	2 木曾らしさを活かした観光振興				○		
	3 地域防災力・減災力の強化				○		
	4 人口減少下における持続可能な地域づくり			○	○		
松本	1 信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進						
	2 大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化	○					
	3 中部山岳エリアにおける広域的な観光振興と交通網の整備						
	4 地域ブランドを活かした豊かな暮らしと移住への取組	○	○				
北アルプス	1 農業、林業、製造業などの稼ぐ力を高める		○		○		
	2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する					○	○
	3 地域の中で安心して生活できる環境を整え、次の世代につなぐ	○		○	○		
長野	1 大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる	○					○
	2 ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる	○	○	○	○	○	○
	3 人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も躍進する長野地域」をつくる		○		○		
北信	1 北信州に生まれ・育ち・集まる人々が、交流し活躍する暮らしの推進	○		○	○		
	2 北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興		○		○	○	
	3 雪国の暮らしを支えるライフライン、地域医療など生活基盤の維持と確保		○	○	○		

5 公共事業の主な整備箇所一覧

本県の経済活動を支え、安全・安心、快適な暮らしを実現するため、各地の実情に合った整備を推進します。

ここでは、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。今後、掲載していない箇所も含め、地域の要望をお聞きしながら整備箇所を検討してまいります。

路線名	箇所名	整備目標
-----	-----	------

道路改築事業

【防災拠点へアクセスする重要物流道路や代替・補完路の機能強化】

(国)	18号	(直轄事業)		整備促進
(国)	19号	(直轄事業)		整備促進
(国)	20号	(直轄事業)		整備促進
(国)	153号	(直轄事業)		整備促進
(国)	153号	駒ヶ根市～伊那市	伊駒アルプスロード(権限代行)	整備促進
(国)	141号	佐久市～小諸市	跡部～平原	完成供用
(国)	153号	伊那市～箕輪町	伊那バイパス	完成供用
(国)	151号	下條村	粒良脇トンネル	完成供用
(国)	151号	阿南町	新野拡幅	完成供用
(国)	256号	南木曾町	漆畑拡幅3工区	完成供用
(国)	148号	小谷村	雨中	完成供用
(国)	406号	須坂市	南横町	完成供用
(国)	148号	白馬村	白馬北	部分供用
(国)	141号	南牧村	海尻	整備推進
(国)	151号	飯田市	八幡町	整備推進
(国)	418号	売木村	岩倉橋～軒川	整備推進
(主)	松本環状高家線	松本市	神林～和田	事業着手
(国)	148号	小谷村	塩水	事業着手
(国)	403号	長野市	綿内	事業着手

【緊急輸送道路の危険箇所の解消による平常時・緊急時の信頼性向上】

(国)	158号	松本市	奈川渡改良(権限代行)	整備促進
(国)	254号	上田市	東内～西内	完成供用
(一)	東部望月線	東御市	田中	完成供用
(国)	418号	天龍村	天竜川橋	完成供用
(主)	松川大鹿線	大鹿村	落合	完成供用
(主)	飯田富山佐久間線	飯田市	知久平～南原	完成供用
(主)	奈川木祖線	木祖村	境峠下	完成供用
(主)	開田三岳福島線	木曾町	小島トンネル	完成供用
(主)	長野大町線	大町市	新行	完成供用
(主)	長野上田線	千曲市	若宮	完成供用
(主)	信濃信州新線	長野市	上楠川～菅谷地	完成供用
(国)	292号	飯山市	大川トンネル	完成供用
(国)	144号	上田市	上野バイパス	部分供用
(国)	361号	木曾町	長峰～九蔵	部分供用

(国)	406号	長野市	戸隠祖山	部分供用
(主)	岡谷茅野線	諏訪市	湖南	整備推進
(主)	岡谷茅野線	諏訪市	大熊	整備推進
(国)	152号	伊那市	荒町	整備推進
(国)	418号	飯田市	大町～下市場	整備推進
(主)	飯田富山佐久間線	阿南町	中谷	整備推進
(主)	天竜公園阿智線	泰阜村	唐笠	整備推進
(主)	飯田富山佐久間線	飯田市	龍江	整備推進
(主)	飯田富山佐久間線	天龍村	松崎	整備推進
(国)	158号	松本市	狸平	整備推進
(国)	403号	長野市	岩野	整備推進
(国)	403号	長野市	関崎橋東	整備推進
(主)	長野菅平線	長野市	落合橋(大豆島～牛島)	整備推進
(国)	254号	上田市	虚空蔵	事業着手
(一)	東部望月線	東御市	加沢	事業着手
(一)	弘沢茅野線	原村～茅野市	阿久～坂室	事業着手

【重要物流道路のダブルネットワークを補完する広域的な迂回機能の強化】

(主)	中津川田立線	南木曾町	田立	完成供用
(一)	上松南木曾線	大桑村	和村橋	完成供用
(一)	上松南木曾線	大桑村	殿～阿寺	完成供用
(一)	上松南木曾線	大桑村～南木曾町	読書ダム～戸場	完成供用
(国)	403号	安曇野市	名九鬼～木戸	部分供用
(国)	403号	麻績村	梶浦～本町	整備推進
(国)	292号	中野市～飯山市	古牧橋	整備推進
(主)	中津川田立線	南木曾町	田立(県境工区)	事業着手
(一)	上松南木曾線	南木曾町	川向～田立	事業着手
(一)	上松南木曾線	大桑村	殿～阿寺(現道拡幅部)	事業着手

【本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路整備】

中部横断自動車道			整備促進	
中部縦貫自動車道			整備促進	
三遠南信自動車道			整備促進	
伊那木曾連絡道路			整備推進	
松本糸魚川連絡道路			整備推進	
(主)	諏訪辰野線	岡谷市～諏訪市	小坂～有賀	完成供用
(国)	153号	飯田市	飯田北改良	完成供用
(主)	飯島飯田線	飯田市	座光寺上郷道路	完成供用
(一)	上飯田線	飯田市		
(国)	143号	松本市～青木村	青木峠バイパス	整備推進

【産業・観光および交通拠点へのアクセス性の向上】

(一)	信濃追分(停)線	軽井沢町	追分	完成供用
(一)	借宿小諸線			
(国)	152号	飯田市	小嵐バイパス	完成供用
(一)	市ノ沢山吹(停)線	高森町～豊丘村	新万年橋	完成供用
(主)	中津川南木曾線	南木曾町	妻籠	完成供用
(一)	小岩岳穂高(停)線	安曇野市	富田橋	完成供用

(一)	有明大町線	安曇野市	宮城北	完成供用
(主)	坂城インター線	坂城町	中之条	完成供用
(主)	長野菅平線	長野市	若穂	完成供用
(一)	三才大豆島中御所線	長野市	北長池～大豆島	完成供用
(一)	豊田中野線	中野市	笠倉～壁田	完成供用
(一)	波田北大妻豊科線	松本市	島々～三溝新田	部分供用
(主)	豊野南志賀公園線	高山村	温泉～牧場	部分供用
(主)	長野菅平線	長野市	菅平下	部分供用
(主)	別所丸子線	上田市	鈴子バイパス	整備推進
(一)	岡谷下諏訪線	下諏訪町	東山田	整備推進
(主)	諏訪辰野線	諏訪市	有賀	整備推進
(主)	伊那インター線	伊那市	中央～上の原	整備推進
(国)	256号	飯田市	下久堅バイパス	整備推進
(一)	豊科大天井岳線	安曇野市	須砂渡	整備推進
(主)	松本塩尻線	塩尻市	片丘～棧敷	事業着手
(主)	松本環状高家線	松本市	新村	事業着手
(主)	坂城インター線	坂城町	中之条～網掛	事業着手

【地域の生活を支える道路網の整備】

(一)	車屋大久保線	伊那市	下殿島～田原	完成供用
(一)	与地辰野線	辰野町	下田	完成供用
(一)	上松御岳線	上松町	高倉橋	完成供用
(一)	上今井洗馬(停)線	塩尻市	洗馬	完成供用
(一)	村山綿内(停)線	須坂市	中島～福島	完成供用
(一)	村山豊野(停)線	長野市～小布施町	長沼～吉島	完成供用
(一)	長野豊野線	長野市	徳間～西三才	完成供用
(国)	405号	栄村	和山～上ノ原	完成供用
(一)	長瀬横倉(停)線	栄村	百合居橋	完成供用
(主)	佐久小諸線	佐久市	伴野～鳴瀬	部分供用
(一)	三分中込線	佐久市	三分～田口	部分供用
(国)	299号	茅野市	糸萱～蓼科	部分供用
(主)	下条米川飯田線	飯田市～喬木村	下平～富田	部分供用
(主)	塩尻鍋割穂高線	松本市	笹賀	部分供用
(主)	伊那生田飯田線	中川村	飯沼～北組	整備推進
(国)	418号	阿南町～天龍村	新野～川島	整備推進
(主)	穂高明科線	安曇野市	狐島	整備推進
(国)	406号	須坂市	村石町	整備推進
(国)	406号	須坂市	仁礼	整備推進
(国)	403号	飯山市～木島平村	下木島	整備推進
(主)	下仁田浅科線	佐久市	志賀バイパス	事業着手
(主)	小諸上田線	上田市	町吉田～中吉田	事業着手
(一)	塩田仁古田線	上田市	中塩田	事業着手
(一)	内川姨捨(停)線	千曲市	内川	事業着手
(一)	中野飯山線	中野市	柳沢北	事業着手

交通安全事業

【通学路合同点検の要対策箇所対策】

(国)	153号	辰野町	宮所	完成供用
(一)	松本空港線	松本市	町神	完成供用
(国)	406号	須坂市	塩川町	完成供用
(国)	143号	青木村	村松～当郷	部分供用
(一)	借宿小諸線	小諸市	四ッ谷	部分供用
(国)	142号	長和町	四泊	部分供用
(国)	403号	小布施町	伊勢町～上町	部分供用

【観光地域づくりに向けた道路環境整備】

(主)	岡谷茅野線ほか	岡谷市～諏訪市	諏訪湖周サイクリングロード	完成供用
-----	---------	---------	---------------	------

道路防災事業

【緊急輸送道路の確保】

(一)	大野田梓橋(停)線	松本市	八景山	完成供用
(国)	152号	伊那市～飯田市	市野瀬～木沢	整備推進
(主)	阿南根羽線	阿南町～根羽村	巾川～小戸名	整備推進
(主)	下条米川飯田線	下条村～飯田市	陽阜～弁天橋	整備推進
(国)	158号	松本市	中ノ湯～稲核橋下	整備推進
(国)	406号	白馬村～長野市	白沢トンネル～小鍋	整備推進

電線共同構事業

【緊急輸送道路の確保】

(国)	141号	上田市	常田	整備推進
(国)	148号	白馬村	白馬駅前	整備推進

【市街地や観光地の景観形成】

(国)	361号	伊那市	高遠	完成供用
(主)	長野上田線	上田市	天神	整備推進
(一)	旧軽井沢軽井沢(停)線	軽井沢町	軽井沢	整備推進
(一)	茅野(停)八子ヶ峰公園線	茅野市	仲町～本町	整備推進
(一)	白馬岳線	白馬村	白馬駅前	整備推進
(主)	岡谷茅野線	岡谷市	本町～中央町	事業着手

橋梁補修事業

【道路施設の老朽化】

(主)	長野信州新線	長野市	篠ノ井南跨線橋	完成
-----	--------	-----	---------	----

雪寒事業

【冬期交通の安全確保】

(主)	信濃信州新線	小川村	穴尾	完成供用
(国)	292号	山ノ内町	十二沢	完成供用
(主)	飯山妙高高原線	信濃町	熊坂	整備推進

県代行事業

【基幹的な市町村道の整備】

(村)	長野殿線	大桑村	大桑～殿	完成供用
(村)	伊折線	小谷村	柳瀬	完成供用
(村)	1-3号線他	野沢温泉村～飯山市	前坂～北竜湖	完成供用
(村)	大河内線	天龍村	大河内	部分供用

(町)	野尻菅川線	信濃町	野尻	部分供用
(村)	16号線	小川村	立屋	部分供用
(町)	川向榎野線	南木曾町	高瀬橋	整備推進

街路事業

《中心市街地の再生やウォーカーカブルなまちづくりによるコンパクトシティの推進》

【交通の円滑化及び安全・安心な歩行空間の確保による良好な都市環境の創出（立地適正化計画エリア内）】

(都)	北天神町古吉町線	上田市	御所	完成供用
(都)	竜東線	伊那市	中央北	完成供用
(都)	松本駅北小松線	松本市	県	完成供用
(都)	相生大手線	佐久市	岩村田	整備推進
(都)	岡谷川岸線	岡谷市	川岸	整備推進
(都)	役場通り線	富士見町	富里	整備推進
(都)	環状北線	伊那市	山寺～中央	整備推進
(都)	竜東線	伊那市	北町	整備推進
(都)	出川双葉線	松本市	出川～双葉	整備推進
(都)	宮渚新橋北小松線	松本市	清水～惣社	整備推進
(都)	芳野双葉線	松本市	双葉	整備推進
(都)	県庁篠ノ井線	長野市	北原～篠ノ井駅入口	整備推進
(都)	県庁篠ノ井線	長野市	川中島～篠ノ井	整備推進
(都)	豊野北線	長野市	豊野駅前	整備推進
(都)	岩野二ツ柳線	長野市	御幣川	整備推進
(都)	立ヶ花東山線	中野市	吉田	整備推進
(都)	立ヶ花東山線	中野市	西町	整備推進
(都)	北天神町古吉町線	上田市	川辺町	事業着手
(都)	観音通線	茅野市	本町	事業着手

【アクセス道路の整備】

(都)	若宮線	千曲市	若宮	完成供用
(都)	赤砂東山田線	下諏訪町	東山田	整備推進
(都)	東新町座光寺線	飯田市	上郷	整備推進

河川事業

【信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進】

(一)	谷川	佐久市	入沢	完成
(一)	滑津川	佐久市	石神	完成
(一)	田子川	佐久市	常和	完成
(一)	千曲川	佐久市	桜井遊水池	完成
(一)	黒沢川	安曇野市	黒沢	完成
(一)	岡田川	長野市	篠ノ井	完成
(一)	浅川	長野市	浅野	完成
(一)	千曲川	栄村	箕作～月岡	完成
(一)	千曲川	飯山市	桑名川～下境（照岡・馬場）	完成
(一)	皿川	飯山市	北町	完成

【流域治水プロジェクト（信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを除く）の推進】

(一)	矢出沢川	上田市	常磐城	完成
(一)	矢の沢川	上田市	北街道	完成

(一) 求女川	東御市	田中	完成
(一) 塚間川・大川	岡谷市	神明町～本町	完成
(一) 十四瀬川	岡谷市	長地	完成
(一) 諏訪湖	岡谷市	釜口水門(耐震)	完成
(一) 三念沢	長野市	豊野	完成
(一) 北沢川	佐久穂町	高野町相生	整備推進
(一) 片貝川・大沢川	佐久市	白田	整備推進
(一) 滑津川	佐久市	朝日橋下	整備推進
(一) 鴨池川	諏訪市	小川	整備推進
(一) 新川	諏訪市	天竜川上流	整備推進
(一) 諏訪湖	岡谷市	釜口水門(長寿命化)	整備推進
(一) 松川	飯田市	松川ダム	整備推進
(一) 奈良井川	松本市	島内～笹部	整備推進
(一) 田川	松本市	渚～村井	整備推進
(一) 隈取川	長野市	豊野町石	整備推進
(一) 駒沢川	長野市	上駒沢	整備推進
(一) 裾花川	長野市	裾花ダム・奥裾花ダム	整備推進
(一) 百々川	佐久市	桜井	事業着手
(一) 上川	諏訪市	上川	事業着手

【環境整備の事業の推進】

(一) 諏訪湖	岡谷市・諏訪市・下諏訪町	諏訪湖	整備推進
(一) 大石川	佐久穂町	清水町	事業着手

砂防事業

【災害リスクの高い箇所における土砂災害対策の推進】

富士川水系	(直轄事業)	富士川水系直轄砂防事業	整備促進
信濃川上流水系	(直轄事業)	信濃川上流水系直轄砂防事業	整備促進
信濃川下流水系	(直轄事業)	信濃川下流水系直轄砂防事業	整備促進
姫川水系	(直轄事業)	姫川水系直轄砂防事業	整備促進
天竜川水系	(直轄事業)	天龍川水系直轄砂防事業	整備促進
木曾川水系	(直轄事業)	木曾川水系直轄砂防事業	整備促進
浅間山	(直轄事業)	浅間山直轄火山砂防事業	整備促進
(砂) 竹の沢川	岡谷市	長地	完成
(砂) 瀬早川	駒ヶ根市	栗林	完成
(砂) 栗代川	阿智村	矢越	完成
(砂) 濁沢川	王滝村	柳ヶ瀬	完成
(砂) 白川	木曾町	白川	完成
(砂) 海岸寺沢	松本市	東桐原	完成
(砂) 北和田沢	松川村	大和田	完成
(砂) 樽沢川	高山村	水中	完成
(砂) 堂平	高山村	天神原	完成
(砂) 栃平沢	筑北村	栃平	完成
(砂) 塩沢	池田町	滝沢	完成
(砂) 知見寺沢	松本市	知見寺	完成
(砂) 長見山沢	白馬村	佐野	完成

(砂) 袖沢	大町市	川手	完成
(砂) 埋沢川	川上村	御所平	整備推進
(砂) 西之久保	佐久市	丸山	整備推進
(砂) 白岩間	北相木村	白岩	整備推進
(砂) 唐沢	南相木村	上栗生	整備推進
(砂) 有坂沢	長和町	古町	整備推進
(砂) 高遠入沢	飯島町	高遠原	整備推進
(砂) 南沢	伊那市	平沢	整備推進
(砂) 塩田川(1)	駒ヶ根市	火山	整備推進
(砂) 千石沢	松本市	中山	整備推進
(砂) 二ノ沢	山形村	小坂	整備推進
(砂) 西沢	朝日村	一之沢	整備推進
(砂) 中房川	安曇野市	穂高有明	整備推進
(砂) 烏川	安曇野市	堀金烏川	整備推進
(砂) 布引沢	大町市	上手	整備推進
(砂) 小網沢川	坂城町	小網	整備推進
(砂) 福沢	須坂市	仁礼	整備推進
(砂) 冷沢	長野市	財又	整備推進
(砂) 獅子沢	長野市	往生地	整備推進
(砂) 太田沢	長野市	安茂里	整備推進
(砂) 笹平沢	長野市	若穂保科	整備推進
(砂) 横湯川	山ノ内町	落合	整備推進
(砂) 戸立沢	木島平村	上千石	整備推進
(砂) 濁池北沢	飯山市	富倉	整備推進
(砂) 井出川	飯山市	照岡	整備推進
(砂) 宮沢川	筑北村	楡窪	整備推進
(砂) 小胡桃沢	松本市	矢久	整備推進
(砂) 薬師沢	小川村	稲丘	整備推進

【要配慮者利用施設の保全】

(砂) 上平沢	長和町	長久保	完成
(砂) 唐沢川	駒ヶ根市	東伊那	完成
(砂) 楡沢	辰野町	伊那富	完成
(砂) 万郡沢	木曾町	万郡	完成
(砂) 内の巻川	信濃町	古海	完成
(砂) 矢沢	長野市	瀬脇	完成
(砂) 岡田川	長野市	岡田	完成
(砂) 真田角間川	上田市	真田町長	整備推進
(砂) 栗生沢	東御市	横堰	整備推進
(砂) 赤津川	諏訪市	普門寺	整備推進
(砂) 矢口・秣沢2	辰野町	北大出	整備推進
(砂) 森沢	根羽村	田島	整備推進
(砂) 尻平沢	木曾町	日義	整備推進
(砂) 堂の入沢	塩尻市	堂の入	整備推進
(砂) 天満南沢	安曇野市	有明	整備推進

(砂) 名沢川	坂城町	戊久保	整備推進
(砂) 坂田	須坂市	坂田町	整備推進
(砂) 内山沢	須坂市	豊中	整備推進
(砂) 泥沢	長野市	小市	整備推進
(砂) 西条川	長野市	浅川西条	整備推進
(砂) 若宮沢	飯綱町	芋川	整備推進
(砂) 唐沢	長野市	山新田	整備推進
(砂) 田草川	飯山市	静間	整備推進
(砂) 高梨沢	中野市	東山	整備推進
(砂) 水無の沢	野沢温泉村	豊郷	整備推進
(砂) 西沢川7	麻績村	上町	整備推進
(砂) 犬川	白馬村	飯田	整備推進

地すべり対策事業

【災害リスクの高い箇所における土砂災害対策の推進】

此田地区	(直轄事業)	此田地区直轄地すべり対策事業	整備促進
天竜川中流地区	(直轄事業)	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	整備促進
(地) 引の田	大鹿村	引の田	完成
(地) 高鼻	安曇野市	高鼻	完成
(地) 大倉	生坂村	大倉	完成
(地) 峯方下	白馬村	峯方下	完成
(地) 前沢	小谷村	前沢	完成
(地) 梨平	小谷村	梨平	完成
(地) 市場1号	小谷村	市場1号	完成
(地) 八方岩	小谷村	八方岩	完成
(地) 柵池	小谷村	柵池	完成
(地) 越道	長野市	越道	完成
(地) 裏立屋	長野市	裏立屋	完成
(地) 小松原	長野市	小松原	完成
(地) 沓掛	青木村	沓掛	整備推進
(地) 福島	天龍村	福島	整備推進
(地) 三ツ出	長野市	三ツ出	整備推進
(地) 落合	山ノ内町	落合	整備推進
(地) 宮の平	池田町	宮の平	整備推進
(地) 社宮寺	松本市	社宮寺	整備推進
(地) 倉下	白馬村	倉下	整備推進
(地) 大網	小谷村	大網	整備推進
(地) 成山	長野市	成山	整備推進

【要配慮者利用施設の保全】

(地) 釜沢	大鹿村	釜沢	整備推進
(地) 菖蒲	生坂村	菖蒲	整備推進
(地) 外沢	小谷村	外沢	整備推進

急傾斜地崩壊対策事業

【災害リスクの高い箇所における土砂災害対策の推進】

(急)	上土岩	南相木村	中島	完成
(急)	久保	北相木村	久保	完成
(急)	大熊神宮寺	諏訪市	大熊神宮寺	完成
(急)	山手町	岡谷市	山手町	完成
(急)	横谷温泉	茅野市	北山	完成
(急)	中谷2号	木曾町	中谷	完成
(急)	小島	千曲市	小島	完成
(急)	西三才	長野市	西三才	完成
(急)	竹之下	筑北村	竹之下	完成
(急)	西裾花台	長野市	西裾花台	完成
(急)	腰越	上田市	腰越	整備推進
(急)	芹沢	長和町	芹沢	整備推進
(急)	押出	飯田市	押出	整備推進
(急)	塩尻町	塩尻市	塩尻	整備推進
(急)	打沢	千曲市	打沢	整備推進
(急)	大谷町	須坂市	大谷町	整備推進

【要配慮者利用施設の保全】

(急)	沢度	伊那市	沢度	完成
(急)	田島	根羽村	田島	完成
(急)	土村6号	小海町	土村6号	整備推進
(急)	三日町	箕輪町	三日町	整備推進
(急)	上新町	飯田市	上新町	整備推進
(急)	下落	大桑村	殿	整備推進
(急)	若宮上	飯綱町	芋川	整備推進
(急)	湯田中	山ノ内町	東小学校裏	整備推進

雪崩対策事業

【災害リスクの高い箇所における土砂災害対策の推進】

(雪)	飯森	白馬村	飯森	整備推進
-----	----	-----	----	------

【要配慮者利用施設の保全】

(雪)	下寺	小谷村	下寺	整備推進
-----	----	-----	----	------

県営住宅建替事業

【ゼロカーボン化に対応した居住環境の整備】

県営住宅大萱団地	伊那市	西箕輪	完成供用
県営住宅アルプス団地	安曇野市	豊科田田沢	完成供用
県営住宅常盤上一団地	大町市	常盤	完成供用
県営住宅みどりヶ丘団地（仮称）	茅野市	宮川	部分供用

農村地域防災減災事業

	箇所名	整備目標
軽井沢町	御影用水	完成
川上村	川上	完成
小海町	小海原2	完成
佐久市	香坂ダム	完成
佐久市・小諸市・東御市	御牧原1号幹線	完成
御代田町	大久保	完成
上田市	西塩田	完成
上田市	泉田	完成
上田市	塩田	完成
飯島町	飯島	完成
飯島町	花の里	完成
伊那市	黒川	完成
須坂市	千曲川沿岸相之島	完成
長野市	北長池	完成
長野市	千曲川沿岸牛島	完成
長野市	千曲川沿岸塩崎	完成
長野市	千曲川沿岸篠ノ井	完成
長野市	千曲川沿岸松代	完成
長野市	千曲川沿岸清野	完成
長野市	千曲川沿岸更北	完成
飯山市	柳原	完成
飯山市	木島	完成
須坂市	福島	事業着手

農業生産基盤整備事業

	箇所名	整備目標
軽井沢町	馬取山田	完成
小海町	小海原	完成
南牧村	南牧野辺山(I期)	完成
上田市	美の郷	完成
上田市・東御市	菅平	完成
東御市	祢津御堂	完成
東御市・小諸市・佐久市・ 上田市・立科町	立科3号幹線	完成
東御市・小諸市・佐久市・ 上田市・立科町	立科幹線	完成
茅野市	縄文の里	完成
飯綱町	芋川	完成
阿智村	花桃の里	完成
阿南町	あなん	完成
豊丘村	豊丘	完成
上松町	ひのきの里	完成
朝日村	あさひ	完成
朝日村	小野沢	完成

	生坂村	いくさか	完成
	塩尻市	洗馬妙義(Ⅰ期)	完成
	松本市	梓川右岸	完成
	松本市・安曇野市	中信平左岸	完成
	山形村	大池原東原	完成
	池田町	会染西部	完成
	大町市	上原	完成
	白馬村	北城南部	完成
	小布施町	松北	完成
	高山村	信州高山	完成
	長野市	川田長原	完成
	長野市	綿内東町	完成
	長野市	小田切	完成
	栄村	栄	完成
	中野市	中野西部	完成
	南相木村	南相木	整備推進
	諏訪市	諏訪平	整備推進
	山形村	唐沢	事業着手

林道

	路線名	箇所名	整備目標
森林基幹道	田口十石峠線	佐久市・佐久穂町	完成供用
	長谷高遠線	伊那市	完成供用
	千遠線	飯田市	完成供用
	高森山線	大鹿村	完成供用
	大島氏乗線	喬木村	部分供用

山地治山総合対策

	箇所名	整備目標
	佐久市 小宮山他	完成
	岡谷市他 諏訪西山	完成
	木祖村 藪原	完成
	飯山市 井出川	完成
	栄村 白鳥	完成

*完成：工事が完了するもの

*完成供用：すべての工事完成により、供用を目指す箇所

*部分供用：事業の一部について、供用を目指す箇所

*整備推進：事業着手したもののうち、完成に向け引き続き事業を進める箇所

*事業着手：準備・計画段階にあるもののうち、事業を始める箇所

*整備促進：国が実施する事業で完成に向け引き続き事業を促す箇所

調査の実施等を検討する道路の主な箇所

道路事業

【防災拠点へアクセスする重要物流道路や代替・補完路の機能強化】

路線名	箇所名
(国) 153号	辰野町～塩尻市 両小野
(国) 148号	小谷村 外沢

【緊急輸送路の危険箇所の解消による平常時・緊急時の信頼性向上】

(国) 152号	東御市～上田市	丸子バイパス
(国) 158号	松本市	鵬雲崎～稲核
(主) 奈川木祖線	松本市	奈川渡～黒川渡
(主) 安曇野インター堀金線	安曇野市	本村
(国) 406号	須坂市	北横町
(国) 406号	長野市	古宮～小鍋
(国) 406号	長野市	西長野
(主) 信濃信州新線	長野市	戸隠～新町

【重要物流道路のダブルネットワークを補完する広域的な迂回機能の強化】

(主) 下諏訪辰野線	岡谷市	駒沢
(国) 403号	千曲市	展望台～聖湖

【本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路整備】

上信自動車道	
松本佐久連絡道路	
上田諏訪連絡道路	

【産業・観光および交通拠点へのアクセス性の向上】

(主) 川上佐久線	小海町～佐久穂町	東馬流～羽黒山
(主) 東御孺恋線	東御市	新張
(国) 152号	茅野市	白樺湖
(主) 諏訪白樺湖小諸線	諏訪市	元町～立石
(国) 152号	大鹿村～飯田市	下青木～程野
(主) 中津川南木曾線	南木曾町	県境～妻籠
(国) 403号	千曲市	屋代

【地域の生活を支える道路網の整備】

(一) 沢渡高遠線ほか	伊那市ほか	伊駒アルプスロード関連
(一) 村山綿内(停)線	須坂市	村山～中島
(国) 403号	木島平村	上木島

街路事業

《中心市街地の再生やウォーカブルなまちづくりによるコンパクトシティの推進》

【交通の円滑化及び安全・安心な歩行空間の確保による良好な都市環境の創出(立地適正化計画エリア内)】

(都) 相生大手線	佐久市	岩村田(2工区)
-----------	-----	----------

【ウォーカブルなまちづくりに資する取組に向けた調査】

しなの鉄道沿線エリア	長野市～軽井沢町
諏訪湖周辺エリア	岡谷市、諏訪市、下諏訪町
松本駅周辺エリア	松本市
大町市中心市街地エリア	大町市

河川事業

【流域治水プロジェクト（信濃川水系緊急治水プロジェクト除く）】

(一) 大沢川	伊那市
(一) 木曽川	木曽町
(一) 荒砥沢川	千曲市

6 達成目標一覧

1 持続可能で安定した暮らしを守る

★は主要目標

指標名	現状	目標	掲載ページ
1-1 地球環境を保全する			
温室効果ガス総排出量	14,572千t-CO ₂ (2018年度)	9,633千t-CO ₂ (2027年度)	42
最終エネルギー消費量	17.2万TJ (2018年度)	13.5万TJ (2027年度)	42
★ 再生可能エネルギー生産量	2.9万TJ (2020年度)	3.7万TJ (2027年度)	42
★ 新築住宅におけるZEHの割合	—	90% (2027年度)	42
★ 民有林における造林面積	277ha (2021年度)	1,000ha (2027年度)	42
生物多様性保全パートナーシップ協定締結数 (累計)	17件 (2021年度)	34件 (2027年度)	44
自然公園利用者数	2,304万人 (2021年)	3,820万人 (2027年)	44
河川における環境基準達成率	100% (2021年度)	100% (2027年度)	45
湖沼における環境基準達成率	40% (2021年度)	60% (2027年度)	45
大気環境基準達成率(光化学オキシダントを除く)	100% (2021年度)	100% (2027年度)	45
1人1日当たりのごみ排出量	807グラム 全国2位 (2020年度)	790グラム (2025年度)	45
1-2 災害に強い県づくりを推進する			
河川改修による水害リスク低減家屋数	2,650戸 (2021年度)	6,340戸 (2027年度)	47
土砂災害特別警戒区域内に立地する要配慮者利用施設の保全数(保全率)	50施設 (51%) (2021年度)	71施設 (72%) (2027年度)	47
防災重点農業用ため池の対策工事の完了箇所数(累計)	57か所 (2021年度)	127か所 (2027年度)	47
治山事業により保全される集落数(累計)	2,174集落 (2021年度)	2,414集落 (2027年度)	47
住宅の耐震化率	86.7% (2021年度)	95% (2027年度)	47
ハザードマップ等による身の回りの危険認知度	—	100% (2027年度)	47
★ 災害時要配慮者の「個別避難計画」を作成している市町村の割合	44.2% 34市町村 全国41位 (2022年)	100% 77市町村 全国1位 (2028年)	47
災害時住民支え合いマップの作成率	89% (2022年)	現状以上 (2028年)	47

	指標名	現状	目標	掲載ページ
	1-3 社会的なインフラの維持・発展を図る			
★	緊急又は早期に対策が必要な橋梁・トンネルにおける修繕等の措置完了率	橋梁 23.0% トンネル 75.0% (2021年度)	100% (2027年度)	50
	水道の広域連携を実施する圏域数	0圏域 (2022年度)	全圏域(9圏域) (2027年度)	50
	汚水処理人口普及率	98.2% (2021年度)	98.6% (2027年度)	50
	1-4 公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性を向上する			
★	公共交通機関利用者数	69,077千人 (2020年度)	100,000千人 (2026年度)	51
	地域公共交通計画を策定している市町村数(累計)	38市町村 (2022年10月)	53市町村 (2027年度)	51
	1-5 健康づくり支援と医療・介護サービスの充実を図る			
★	健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)	男性 81.1年 全国2位 女性 85.2年 全国1位 (2020年)	全国1位 (2026年)	53
	平均寿命	男性 82.68年 全国2位 女性 88.23年 全国4位 (2020年)	全国1位 (2025年)	53
	特定健診受診率	58.6% (2020年度)	70% (2025年度)	53
	要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合	82.9% (2021年度)	現状以上 (2027年度)	53
	救命救急センターの充実度評価Aの割合	100% (2021年)	100% (2027年)	54
	在宅での看取り(死亡)割合 (自宅及び老人ホームでの死亡)	29.3% 全国7位 (2021年)	全国トップクラス (2026年)	54
★	医療施設従事医師数(人口10万人当たり)	243.8人 (2020年)	264.6人 (2026年)	54
	分娩取扱医師数(人口10万人当たり)	6.6人 (2020年)	現状以上 (2026年)	54
	就業看護職員数	30,521人 (2020年)	31,609人 (2026年)	54
	介護職員数	3.8万人 (2020年)	4.2万人 (2026年)	54
	1-6 県民生活の安全を確保する			
	刑法犯認知件数	6,635件 (2022年)	現状以下 (2027年)	57
	電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害認知件数	198件 (2022年)	90件以下 (2027年)	57
★	交通事故死者数	46人 (2022年)	45人以下 (2025年)	57
★	自殺死亡率(人口10万人当たり)	16.3人 (2021年)	12.2人以下 (2027年)	57
	60歳以上の山岳遭難者数	141人 (2022年)	126人以下 (2027年)	57

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

	指標名	現状	目標	掲載ページ
2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る				
★	労働生産性	7,125 千円/人 (2020 年度)	2020 年度比 +11.2% (2025 年度)	62
★	製造品出荷額等	60,431 億円 (2020 年)	2020 年比 +10.6% (2025 年)	62
	製造業の従業者一人当たり付加価値額	1,037 万円/人 (2020 年)	2020 年比 +11.2% (2025 年)	62
	県の制度等を活用し県内に拠点を新增設する事業所数 (累計)	84 件 (2017~2021 年度の累計)	125 件 (2023~2027 年度の累計)	62
★	会社開業率	2.9% (2021 年)	5% (2027 年)	62
★	農業農村総生産額	3,579 億円 (2020 年)	3,700 億円 (2027 年)	62
	農業における中核的経営体数	10,044 経営体 (2021 年度)	10,700 経営体 (2027 年度)	63
	荒廃農地解消面積	1,329ha (2021 年度)	1,300ha (2027 年度)	63
★	林業産出額(うち木材生産)	5,209 百万円 (2020 年)	7,170 百万円 (2027 年)	63
	木材生産量	625 千m ³ (2021 年)	830 千m ³ (2027 年)	63
	中核的林業事業体数	44 事業体 (2021 年度)	66 事業体 (2027 年度)	63
★	県民一人当たり家計可処分所得	2,516 千円/人 (2020 年度)	2020 年度比 +10.2% (2025 年度)	63
★	県産農畜産物の輸出額	17.7 億円 (2021 年度)	28 億円 (2027 年度)	65
★	加工食品の輸出額	71.8 億円 (2021 年)	124 億円 (2027 年)	66
	果実産出額	894 億円 (2020 年度)	945 億円 (2027 年度)	66
	銀座NAGANOの来館者数 (累計)	370 万人 (2017~2021 年度の累計)	425 万人 (2023~2027 年度の累計)	66
★	就業率 (15 歳以上人口)	62.4% (2021 年)	64.9% (2027 年)	67
★	県内出身学生のUターン就職率	36.5% (2022 年3月卒)	45%以上 (2027 年3月卒)	67
	県関与のリカレント (リスキリング) 講座・訓練の受講者数 (累計)	13,396 人 (2017~2021 年度の累計)	20,000 人 (2023~2027 年度の累計)	67
	県関与のデジタル分野の講座・訓練の受講者数 (累計)	4,813 人 (2017~2021 年度の累計)	9,000 人 (2023~2027 年度の累計)	67
2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する				
	一般廃棄物リサイクル率	21.4% (2020 年度)	20% (2025 年度)	68
	工業技術総合センター等による環境・エネルギー分野の支援件数、支援による事業化件数 (累計)	支援 36 件 事業化 0 件 (2021 年度)	支援 200 件 事業化 10 件 (2023~2027 年度の累計)	68

指標名	現状	目標	掲載ページ
エシカル消費を理解している人の割合	12.8% (2022年度)	40% (2027年度)	68
エシカル消費につながる行動のうち、地産地消を 実践している割合	46.5% (2022年)	50% (2027年)	70
売上額1億円を超える農産物直売所数・売上高	63施設 176億円 (2021年度)	73施設 186億円 (2027年度)	70
再生可能エネルギー生産量	2.9万TJ (2020年度)	3.7万TJ (2027年度)	70
2-3 地域に根差した産業を活性化させる			
新規就農者数(49歳以下)	212人/年 (2021年度)	215人/年 (2027年度)	72
新規林業就業者数	99人/年 (2017~2021年度平均)	120人/年 (2027年度)	72
デザサボながのによる支援件数、支援による商品 化件数(累計)	支援 442件 商品化 117件 (2017~2021年度の累計)	支援 450件 商品化 100件 (2023~2027年度の累計)	73
しあわせ信州食品開発センターによる支援件数、 支援による商品化件数(累計)	支援 333件 商品化 98件 (2017~2021年度の累計)	支援 400件 商品化 100件 (2023~2027年度の累計)	73

3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

3-1 住む人も訪れる人も快適な空間をつくる			
県民が広く親しめる里山の数(累計)	—	50か所 (2027年度)	76
森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数 (累計)	—	50プロジェクト (2027年度)	76
「信州まち・あい空間」を創出する地区数(累計)	—	10地区 (2027年度)	76
長野県先端技術活用推進協議会を活用し実施した 取組件数(累計)	23件 (2022年度)	73件 (2027年度)	77
★ 県に対してオンラインで実施できる行政手続の割 合	25% (2022年度)	100% (2027年度)	78
県関与のデジタル分野の講座・訓練の受講者数 (累計)	4,813人 (2017~2021年度の累計)	9,000人 (2023~2027年度の累計)	78
地域おこし協力隊員の数	428人 (2021年度)	580人 (2027年度)	80
地域おこし協力隊員の定着率	78.3% (2021年度)	85% (2027年度)	80
特定地域づくり事業協同組合がある市町村数	2市町村 (2022年度)	12市町村 (2027年度)	80
小さな拠点形成数	71か所 (2021年度)	93か所 (2027年度)	80
地域運営組織数	242団体 (2021年度)	289団体 (2027年度)	80
★ 信州まつもと空港利用者数	130千人 (2021年度)	267千人 (2027年度)	82
★ 社会増減(累計)	△4,132人 (2018~2022年の累計)	+2,700人 (2023~2027年の累計)	85
★ 移住者数	2,960人 (2021年度)	4,500人 (2027年度)	85

	指標名	現状	目標	掲載ページ
	都市農村交流人口	198,849人 (2021年度)	690,000人 (2027年度)	85
	リゾートテレワーク実施者数	2,649人 (2021年度)	5,000人 (2027年度)	85
★	観光消費額	5,154億円 (2021年)	9,000億円 (2027年)	87
	訪日外国人旅行者の観光消費額	0億円 (2021年)	747億円 (2027年)	87
★	外国人延べ宿泊者数	6.3万人泊 全国12位 (2021年)	207万人泊 (2027年)	87
3-2 文化、スポーツの振興などゆとりある暮らしを創造する				
	文化芸術活動に参加した人の割合	76.3% (2021年度)	80% (2027年度)	89
★	信州アーツカウンシルの支援等団体数	165団体 (2022年度) ※見込み	350団体 (2027年度)	89
	国民スポーツ（体育）大会男女総合順位	15位 (2022年)	5位以上 (2027年)	91
★	運動・スポーツ実施率	60.8% (2021年度)	70% (2027年度)	91
	小・中学生の体力合計点	49.0点 (2022年度)	52点 (2027年度)	91
	障がい者が参加するプログラムを行っている総合型地域スポーツクラブの割合	26.9% (2021年度)	50% (2027年度)	91

4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

4-1 子どもや若者の幸福追求を最大限支援する				
	合計特殊出生率	1.44 (2021年)	1.61 (2027年)	94
★	出生数	12,514人 (2021年)	13,400人 (2027年)	94
	理想の子ども数を持たない理由として経済的負担を挙げた人の割合	55.5% (2022年)	40%以下 (2027年)	94
★	婚姻数	7,347組 (2021年)	8,750組 (2027年)	94
	県内事業所の男性従業員の育児休業取得率	19.8% (2021年度)	30% (2025年度)	94
★	信州こどもカフェ設置数・設置市町村数	159か所 46市町村 (2021年度)	270か所 77市町村 (2027年度)	96
	ヤングケアラー支援ネットワーク体制を構築している市町村数	1市町村 (2022年度)	77市町村 (2027年度)	96
	生活保護世帯の子どもの大学等進学率	30.5% (2021年度)	50% (2027年度)	96
4-2 年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会をつくる				
	他者の人権を尊重することについて意識して行動している人の割合	86.8% (2021年度)	90% (2027年度)	97
★	法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数	7,351人 (2022年度)	8,455人 (2027年度)	97

指標名	現状	目標	掲載ページ
4-3 働き方改革を推進し、就労支援を強化する			
労働力率	63.9% (2021年)	66.8% (2027年)	99
★ 一般労働者の総実労働時間	1,952.4時間 (2021年)	1,885時間 (2027年)	99
職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数	237社 (2023年1月時点)	340社 (2027年度)	99
4-4 女性が自分らしく輝ける環境をつくる			
性別によって役割を固定する考え方を肯定する人の割合	20.6% (2019年度)	10%未満 (2027年度)	101
★ 県内事業所における管理的職業従事者に占める女性の割合	13.5% (2021年度)	30% (2027年度)	101
★ 県の審議会等委員に占める女性の割合	39.0% (2022年度)	40%以上、 60%以下 (2027年度)	101
4-5 高齢者の活躍を支援する			
生きがいを持って生活している元気高齢者の割合	60.1% (2019年度)	現状以上 (2025年度)	103
70歳以上まで働ける制度のある企業の割合	44.6% (2022年度)	64.7% (2027年度)	103
長野県シニア大学卒業後の社会参加活動実施率	63.1% (2019年度)	現状以上 (2026年度)	103

5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

5-1 一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びを推進する			
学校の教育活動全般に対する生徒（高校生）の満足度	84.3% (2021年度)	現状以上 (2027年度)	106
★ 高校生の海外への留学者率	0.03% (2021年度)	2% (2027年度)	106
公立高校現役生で進学希望者のうち進学した者の割合	92.4% (2021年度)	94.9% (2027年度)	106
公立高校卒業後就職希望者の就職内定率	98.5% (2021年度)	99.5% (2027年度)	106
「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒（小6、中3）の割合	83.7% (2022年度)	現状以上 (2027年度)	106
幼保小合同研修会の実施率	46.6% (2021年度)	56.6% (2027年度)	106
★ 信州型自然保育（信州やまほいく）認定園数・認定園の所在市町村数	270園 43市町村 (2022年10月)	330園 77市町村 (2027年10月)	106
5-2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる			
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答える児童生徒（小6、中3）の割合	76.5% (2022年度)	現状以上 (2027年度)	108
★ 「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒（小6、中3）の割合	81.1% (2022年度)	現状以上 (2027年度)	108
不登校児童生徒が学校内外で専門的な相談・指導を受けた割合	66.6% (2021年度)	現状以上 (2026年度)	108
★ 信州自然留学（山村留学）者数	172人 (2022年4月)	340人 (2028年4月)	109

指標名	現状	目標	掲載ページ
5-3 高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する			
県内大学の収容力	21.1% (2022年度)	25% (2027年度)	110
★ 県内大学卒業生の県内就職率	53.4% (2021年度)	58% (2027年度)	110
県内大学と県内企業・自治体との共同研究・連携事業数	352件 (2019～2021年度平均)	400件 (2025～2027年度平均)	110
5-4 学びの共創による地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する			
県民一人当たり年間貸出冊数 (公立図書館・電子図書館)	5.3冊 (2021年度)	6冊 (2027年度)	112
社会教育士の数	12人 (2021年度)	110人 (2027年度)	112

7 用語解説

【あ】		掲載ページ
アーティスト・イン・レジデンス	国内外の芸術家等が一定期間、地域に滞在し、地域との交流を通して創作活動を行う取組	90
アウトリーチ	手を伸ばすという意味の英語から派生した言葉で、芸術家や公的文化施設などが、通常の活動の場で接する機会の少ない人々に対して、出張コンサートやイベントなどを催すこと	90
アセットマネジメント	中長期的な視点に立ち、施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に施設を管理運営する体系化された実践活動	48
アダプト	自治体と住民組織が役割分担して、道路や河川の維持美化活動を行う仕組み	88, 184
アントレプレナーシップ	自ら事業を創るために要求される態度や発想、能力を総称したもの。『起業家精神』。チャレンジ精神、積極性、創造性、自信、探究心等がその精神の中核となるもの	34, 36, 62, 107
イエナプラン	ドイツで発祥し、オランダで広がった子どもたち一人ひとりを尊重しながら、自立と共生を重視する教育手法。異年齢による学級編成や、対話・遊び・仕事(学習)・催しからなる4つの基本活動が特徴	17
伊那谷交流圏	リニア中央新幹線の長野県駅(仮称)が設置される南信州地域及び駅に近い上伊那地域の両地域を駅勢圏とする交流圏	82, 83
イノベーション	これまでのモノ・仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと	42, 62, 63, 64, 111, 127, 151, 166
インバウンド	外国人の訪日旅行のこと	20, 87, 88, 128, 129, 144, 150, 165, 191, 192, 199
ウォークブルなまちづくり	都市空間を車中心からひと中心の空間へ転換し、居心地が良く歩きたくなる空間整備を行うこと	44, 77, 238, 245
ウッドショック	2021年に起こった木材不足や価格が高騰した状況	70
栄養塩類	植物性プランクトンなどの植物体の生育に不可欠なケイ素、りん、窒素などの元素を含む塩類	157
エコツーリズム	地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み	158
エシカル消費	持続可能な社会の実現のため、人・社会・環境・地域などに配慮した消費行動	68, 69, 70, 71, 113, 129, 173
遠隔教育特例校制度	中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部において一定の基準を満たしており、文部科学省に認められた場合、授業を多様なメディアを高度に利用し、教室以外の場所で履修させることができる特例制度	110
おいしい信州ふード	県内で生産された農畜産物や主原料が県内産の加工食品、地域に根差した郷土食などの総称	71
オープンデータ化	国・地方公共団体・事業者が保有するデータを、誰もが編集・加工等がしやすい形でインターネットに公開すること	52, 205
おためしナガノ	県外のITを中心としたクリエイティブ人材・企業に対し、県内に「おためし」で住んで仕事の機会を提供することで本格的な移住や拠点設置に結び付け、地域や県内事業者との新規事業創出を促進する取組	145

御嶽山火山マイスター	火山防災に関する知識の普及啓発や御嶽山の魅力発信等の活動を実践する者で、18名が認定審査に合格（令和3年度未現在）	179
------------	---	-----

【か】		掲載ページ
カーボンオフセット	日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスは、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方	159
架線集材	空中に張られたワイヤーロープを使って、伐採した立木を森林から道端に集めること	173
かわまちづくり	水辺を活かしたまちづくりの取組を推進する国土交通省の支援制度。千曲川や天竜川、三峰川、諏訪湖、大石川など、県内で7か所が登録されている	204
がん診療連携拠点病院等	質の高いがん医療を提供できるようにするため、都道府県の推薦を受け国が指定する「がん診療連携拠点病院（専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備などの役割を担うがん診療の中核的な病院）」と「地域がん診療病院（がん診療連携拠点病院がない地域で拠点病院と連携してがん診療にあたる病院）」のこと	55
木曾広域自立圏 北アルプス連携自立圏	定住自立圏の中心市要件を満たす都市がない木曾地域6町村又は北アルプス地域5市町村で形成。圏域全体の地域活性化や生活機能の確保・充実、圏域への人材の誘導・定着の促進などに取り組むもの	82, 188, 192
キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育むことを通して、キャリア発達を促す教育	21, 72, 107, 127, 162, 171, 191, 202
教育支援センター	不登校児童生徒等の社会的自立に向けた支援・指導を行うため、在籍する学校と連携しながら、学校外や空き教室等でカウンセリングや指導を計画的に行う組織として、教育委員会が設置したものを指す言葉。なお、単に相談を行うだけの施設は含まない	107, 109
教員業務支援員	プリント印刷や採点補助等の教員の業務をサポートする職員。教員の本来業務である児童生徒への指導や教材研究等に注力することが可能	108
グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組	44, 45
グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称	131
グローバル人材	日本人としてのアイデンティティや誇りを持ちつつ、①豊かな語学力・コミュニケーション能力、②主体性・積極性、③異文化理解の精神等を身に付けて様々な分野で活躍できる人材	34, 36, 86
ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、話を聴き、必要に応じて専門機関につなぎ、見守る役割を担う人材	59, 174
健康サポート薬局	かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を備えた上で、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する（健康サポート）機能を備えた薬局	56
光化学オキシダント	工場や自動車から排出される大気中の窒素酸化物や揮発性有機化合物などが、太陽の紫外線により光化学反応を起こし生成される酸化性物質の総称。主成分はオゾンであり、人や植物に有害である	45, 46

こうみつどはしゅいくびょう 高密度播種育苗	田植えに利用する苗箱に、通常の1.5倍以上の種をまき、高密度に育苗する技術。使用する苗箱を減らすことで、育苗コストの低減と田植え作業の省力化につながる	190
公民館主事	公民館長の命を受け、公民館の事業の実施にあたる職員。地域の学びが盛んになり、地域づくりにつながるようにしていく役割を担う	81, 112, 113
交流人口	目的を持ってその地域を訪れる人たちのこと。地域を訪れる目的としては、観光、レジャー、文化鑑賞・創造、通勤・通学、習い事、スポーツなど、特に内容を問わない	90
子どもの自殺危機対応チーム	自殺のリスクが高い子どもを支援する学校や市町村等が困難ケースに直面したとき、専門的見地からの助言や支援を行う多職種の専門家で作成するチーム。令和元年10月に設置	59, 97
個別避難計画	高齢者や障がい者など、災害時の避難に配慮が必要な方について、支援者や避難先など一人ひとりの状況に応じて市町村が作成する避難計画	47, 49, 185,

【さ】		掲載ページ
災害時住民支え合いマップ	災害発生時に一人で避難することが難しい高齢者、障がい者、乳幼児などの要配慮者、避難の手助けする支援者、避難経路等を表記した地図	47, 49
再造林	人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えて人工林をつくること	44, 65, 71, 144, 153, 157, 159, 163, 166, 173, 178, 191, 197
サステナブルツーリズム	訪問客や業界、環境、訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在・将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光	192
サマースクール	夏休みなどを活用し、子どもたちが、様々な分野の最前線で活躍する社会人や国内外の大学生など、多様な先輩と関わりながら、国境や地域、世代を越えて学び合うプログラム	109, 125
しあわせバイ信州運動	県内で生産されたモノやサービスを県内で消費する意義について、県民理解を促進し、実際の消費行動につなげる取組	70, 129
ジェンダー	「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている	98
次世代モビリティ	自動運転など新たな技術や手法を活用した移動手段。ドローンや自動走行車両のほか、電動化、シェアリングなども含まれる	171
自治立法権	地方公共団体が条例や規則を制定する権能のこと	211
シニア活動推進コーディネーター	各圏域に1名ずつ配置され、地域課題に応じる相談窓口機能の役割を担いながら関係団体との連携や協働を行うプラットフォームを作り、シニアの活躍の場の提供や社会参加のきっかけづくりを行う調整的な人材	103

社会教育士	学びを社会のいたるところに仕掛け、地域づくりへの展開を支援する専門人材であり、所定の講習等を修了した者の称号	81, 112, 113
社会的共通資本	経済学者・故宇沢弘文氏が提唱した概念で「一つの国ないしは特定の地域に住むすべての人々がゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」のこと。自然資本（森林、水大気、土壌等）、社会的インフラストラクチャー（道路、上下水道、公共交通等）、制度資本（教育、医療等）から成る	26, 30, 31, 52, 222
社内ベンチャー	企業内において既存の事業にはない新たなビジネスモデルを創出するために設置する独立した組織。事業が軌道に乗ったら分社化して子会社や完全独立会社として事業継続するケースもある	64, 111
収益納付型補助金	補助対象事業により収益が生じた場合に、交付した補助金の全部又は一部に相当する金額を県に納付することを条件として交付する補助金	43, 71
重層的支援体制整備事業	属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する、市町村の任意事業	99
住宅セーフティーネット	低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育している者、その他住宅の確保に特に配慮を要する者が、民間住宅市場の中で自力では住宅の確保が困難な事態に直面した際に対応するための仕組み。公営住宅の提供等により、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるようにするもの	95
循環経済	従来の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すもの。サーキュラーエコノミーともいう	34, 38, 61, 68, 69, 142, 143
しゅんせつ 浚渫	河川、湖沼、海などで、広い面積にわたって水底を掘って土砂などを取り去る土木工事のこと	46, 157
職場いきいきアドバンス カンパニー認証制度	誰もが生き生きと働くことができる職場環境づくりに先進的に取り組み、実践する「一歩進んだ」企業等を認証する長野県独自の認証制度	64, 100, 102, 198
食品のアップサイクル	食品ロス削減のため、製造段階で本来であれば廃棄されていた食材や規格外品を活用して、価値の高い新たな商品を創り出す取組で、SDGsの目標の一つ「つくる責任つかう責任」として目指している	69
食料安全保障	国民生活の安定と国民経済の円滑な運営に著しい支障が生じないように、食料の安定的な供給を確保すること	65, 70, 71, 129
信越自然郷	「千年風土の豊穡の地」というブランドコンセプトのもと、長野県の飯山市、中野市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村、新潟県の妙高市の信越地方の9市町村が世界水準の滞在型観光地を目指して命名したエリア	203, 204
信越トレイル	登山道や林道などをつないで整備された里山を巡る自然歩道。長野・新潟両県に連なる110kmに及ぶ日本屈指のロングコース	204
信州アーツカウンシル	地域が主体となった文化芸術活動を持続的に発展させていくため、文化芸術の振興や活用に専門的知見を持つ人材を配置した中間支援組織。様々な取組を通じて、文化芸術活動の創造性・発信力を高め、その力を観光や福祉、産業、地域づくりなど様々な領域に広げることにより、県内の文化芸術活動の持続的な発展を推進。「アーツカウンシル」は英国発祥で「芸術評議会」とも訳され、行政から一定の距離を保ちながら、文化芸術政策の執行を担う専門機関のこと。令和4年6月本格始動	89, 90

信州ACE（エース）プロジェクト	脳卒中等の生活習慣病予防に効果のある Action（アクション、体を動かす）、Check（チェック、健診を受ける）、Eat（イート、健康に食べる）に取り組む県民運動の名称	53
信州型コミュニティスクール	「地域と共にある学校づくり」に向けて、地域・家庭・学校が連携して学校運営参画、協働活動、学校評価の3つの機能を一体的・持続的に実施する仕組み	162
信州型自然保育（信州やまほいく）	長野県の豊かな自然環境や多様な地域資源を活用した様々な体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育を指す言葉。通称は「信州やまほいく」。長野県では、平成27年度に全国に先駆けて「信州型自然保育（信州やまほいく）認定制度」を創設し、県が独自に定めた基準により自然保育を行う保育所・幼稚園・認可外保育施設等を認定し、支援を行っている	17, 106, 108
信州型フリースクール	不登校児童生徒の多様な「学びの場」を確保するため、今後検討する県の基準に合致したフリースクール	97, 109
信州環境カレッジ	ウェブサイト等で県内の環境教育に関する情報を一元化して発信し、県民が参加しやすい環境を整備するとともに、環境教育の機会を提供する団体等の活動を支援する事業	44, 113, 153
信州健康ゼロエネ住宅	信州の恵まれた自然環境と森林資源を活かし、資源や経済などの地域内循環を考慮した2050ゼロカーボンに資する質の高い快適で健康的な木造住宅	43, 44, 86, 166, 196
信州高等教育支援センター	県内の高等教育機関の魅力を高めるとともに、地域の知の拠点として高等教育機関が持つ資源を活かした地域づくりを推進するための組織	110
信州ナレッジスクエア	「信州」という切り口から多様な情報源（データベース、アーカイブ、ウェブサイト等）にたどり着くことができる、県立長野図書館が運用している無料で利用できる地域情報資源のポータルサイト	90
信州まち・あい空間	街に出かけたくなる魅力があり、目的地にたどり着くまでの環境が心地良い空間（まちなかが、あるきたくなる、いごちのいい空間）	44, 76, 77,
信州の環境にやさしい農産物認証	地域の一般的な栽培法と比較して化学肥料と化学合成農薬を原則50%以上削減した方法で生産された農産物を長野県知事が認証する制度	69, 157, 190
信州食育発信3つの星レストラン	健康に配慮した食事を選択できる環境を整え、「健康づくり」を推進するとともに、広く食育の観点から、「長野県産食材の利用や食文化継承」や「食べ残しによる生ごみの発生抑制」の取組を一体的に推進することで、食育の総合的な普及啓発を行う飲食店	53
信州幼児教育支援センター	「信州幼児教育振興指針」（平成31年3月策定）の理念と方針に基づく取組を展開し、幼稚園や保育所、認定こども園の園種を越え、県内全ての施設における質の高い幼児教育を実現するため、平成31年4月開所	107
浸水想定区域図	洪水で河川が氾濫した場合に、あるエリアがどのように浸水するかについて、その浸水の区域を浸水の深さごとに色分けして地図上に示した図面	48
森林環境教育	森林内での様々な体験活動等を通じて、森林と人々の生活や環境との関係についての理解を深めること	143
森林機能のゾーニング	水源かん養や山地災害防止機能、木材生産機能等の森林の有する機能別に森林の区域を分けること	144
水害リスクマップ	10年に1度や30年に1度等の頻度が異なる浸水想定区域図を重ね合わせ、浸水範囲・浸水深さと浸水頻度の関係を分かりやすく図示したもの	50
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、文部科学省から指定を受けた先進的な理数教育を実施する高等学校等	107

スーパー・メガリージョン構想	リニア中央新幹線の開通により、三大都市圏が相互に約1時間で結ばれ誕生する世界最大のメガリージョンの構想。メガリージョンとは、自治体や国境を越えて連携し、グローバルな地域間競争を行う広域経済圏のこと	82
スクールカウンセラー	児童生徒等の悩みに対して、安心して学校生活を送ることができるよう、心のケアを行う公認心理師、臨床心理士等の専門家のこと	97, 109
スクールソーシャルワーカー	いじめや不登校、暴力行為、児童虐待など、生徒指導上の課題に対応する社会福祉等の専門家のこと	97, 109
スタートアップ	革新的なアイデアで短期間に成長する企業	34, 62, 63, 64, 122, 123, 151
スタートアップ・エコシステム	起業家の起業前後から事業拡大過程において必要な支援が行政・金融機関・大学・民間支援機関等により完結しており、起業家を含む全ての関係者が生態系（エコシステム）のように相互に連動しながらスタートアップを輩出していく構造	64
スマート農業	ロボット技術やAI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、ICT（情報通信技術）などの先端技術を活用して、省力化、精密化や高品質生産を行う農業のこと	65, 78, 151, 163, 190, 191, 203
スマート林業	ICT（情報通信技術）等の先端技術を現場レベルで活用して、林業の効率化や省力化等を図ること	65, 78, 163
諏訪湖の案内人	諏訪湖の水環境や歴史・文化を県民や観光客に案内し、諏訪湖にかかる学び推進の役割を担う人	157
諏訪湖の日	諏訪湖創生ビジョン推進会議で、諏訪湖流域下水道が一部供用開始された日にちなみ、10月1日を「諏訪湖の日」と定めた	157
セイジ・オザワ 松本フェスティバル	世界的な指揮者である小澤征爾氏により平成4年に創立され、毎年夏に長野県松本市で開催されている音楽祭。（平成26年までは同氏の恩師である齋藤秀雄氏の名を冠した「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」の名称で開催）世界中から優れた音楽家が結集し、オペラやコンサートなど多彩な演目が披露されるほか、若い音楽家の教育や、小中学生が生の音楽に触れるプログラムを実施している	90
性的マイノリティ	性自認（自己の性別についての認識）が出生時に判定された性と一致しない人又は性的指向（恋愛又は性的な関心の対象となる性別についての指向）が異性に限らない人のこと。「性的少数者」ともいう	6, 98,
ゼロカーボン社会共創プラットフォーム（くらしふと信州）	2050ゼロカーボンの実現に向け、県内外を問わず、個人・団体・大学・企業・自治体といった多くの主体が、分野や世代を超えて連携し、行動するための場として設けたもの。脱炭素につながるプロジェクトの創出・実行、学びの機会の提供、情報交換などを行う	43, 44, 121, 153, 196, 211
ゼロカーボンミーティング	気候変動に対し取組を始めている学生・事業者・大学・NPO法人など様々な主体が対話を行い、「思い」や「動き」を共有し、ゼロカーボン社会の実現に向け県民一丸となった行動を促進することを目的とした取組	172, 193
先進医療	高度な医療技術を用いた治療等のうち、公的医療保険対象外（費用自己負担）であるが、厚生労働大臣が一般の保険診療との併用を認めることとしたもの	95
全窒素	水中に含まれる無機性窒素及び有機性窒素の総量。数値が高いほど汚れが大きいことを示す	157, 158
専門医療機関連携薬局	がん等の専門的な薬学管理を関係機関と連携して対応できる、都道府県知事の認定を受けた薬局	56
全りん	水中に含まれる無機性りん及び有機性りんの総量。数値が高いほど汚れが大きいことを示す	157, 158
総合診療医	日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供する、総合的な診療能力を有する医師	56, 111

ソーシャルイノベーション	社会問題を解決するための技術革新やビジネスモデルの変革。ソーシャルイノベーションによるビジネスを展開する者は「社会起業家」と呼ばれる	64
--------------	--	----

【た】		掲載ページ
大規模経営体 (トップランナー)	明確な経営理念と目標を掲げ、雇用労力の活用等により企業的な経営を展開する所得概ね1千万円(品目により異なるが販売額3千万円程度)以上の経営体(家族経営体、組織経営体)を定義	65, 72
ダイバーシティ	「多様性」のこと。経営において、多様な人材を活かしその能力を最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し価値創造につなげることを「ダイバーシティ経営」という	62, 64, 100
地域おこし協力隊	人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、都市住民など地域外の人材を地域社会の担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした取組	23, 80, 81, 86, 134, 164, 165, 191, 192, 197, 202, 203, 221
地域循環共生圏	地域資源を持続可能な形で最大限活用しつつ、地域間で補完・支え合うことで、人口減少や少子高齢化の下でも環境・経済・社会の統合的向上を図りつつ、新たな成長につなげようとする概念。第五次環境基本計画(平成30年4月閣議決定)で提唱され、環境・経済・社会の統合的向上の具体化の鍵の一つであり、我が国初の脱炭素化・SDGsの実現に向けた考え方	143
地域内経済循環	地域で消費するものを地域で生産する「地消地産」と消費者の消費行動を連動させ、地域外から獲得した資金を地域内で循環させることで、地域に雇用と所得を持続的に生み出す自立的な経済構造	34, 38, 43, 61, 70, 121, 129
地域連携薬局	入退院時の医療機関等や在宅医療等における他の薬局等との連携により一元的・継続的な対応ができる、都道府県知事の認定を受けた薬局	56
地産地消	地元で生産されたモノやサービスを地元で消費する取組	70, 151, 190
地消地産	地域にある資源を活用して、地域で消費するものを地域で生産する取組	34, 70, 71, 143, 144, 165, 166, 190, 205
中核的経営体	市町村長が認定した「認定農業者」や「認定新規就農者」などの地域農業をけん引する農業経営体	63, 65, 203
中国帰国者	1972年の日中国交正常化以降、再開された肉親調査や帰国施策によって帰国した「中国残留邦人」(「中国残留孤児」や「中国残留婦人」とその家族のこと	99
地理的表示(ジニアイ)保護制度	地域の特性が確立され、その地域ならではの要因と結びついた地域ブランドである農林水産物や加工食品の名称、酒類の産地名を地域で共有される知的財産として法的に保護する制度	66, 71, 173
通級による指導	大部分の授業を小・中・高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障がいに応じて受ける特別の指導。障がいによる学習上や生活上の困難を改善し、克服するために行う、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導	109

つながり人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々。「関係人口」とも呼ばれる	30, 83, 85, 86, 135, 144, 145, 152, 153, 164, 165, 170, 198, 202
定住自立圏	人口5万人程度以上の中心市が、生活・経済面で関わりの深い周辺市町村と形成する圏域。地域全体で、医療・福祉・教育など生活機能の強化、交通・ICT（情報通信技術）インフラの整備や地域内外の住民の交流、人材育成など人口定住に必要な生活機能の確保に取り組むもの	17, 82, 152
データ連携基盤	複数の個別システムが保有するデータを集約し、適切な形式に加工し、提供するシステム	79
デジタル地域通貨	特定の地域やコミュニティ内だけで流通、利用できる地域通貨をデジタル化した電子決済手段	70, 129
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差	80, 112
デジタル田園健康特区	デジタル技術の活用によって、地域における健康、医療に関する課題の解決に重点的に取り組む地方自治体からの申請に基づき、国が地域のデジタル化と規制改革などを行う制度	154
デマンドバス	経路・乗降地点・時刻のいずれか、あるいはすべてに柔軟性を持たせ、利用者の要求に応じて運行するバス	142
デマンドレスポンス	節電や蓄電池への充電などにより消費電力量をコントロールする事で、電力の需要と供給のバランスを調整する仕組み	79
デュアルシステム	学校での授業とともに産業現場での長期の就業体験を教育課程に位置付け、地域に貢献する人材を育成する教育の仕組み	191
統合型校務支援システム	教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など、これら校務を一括して処理できる統合型システム	108
糖尿病性腎症	糖尿病の合併症の一つで、腎臓の機能が低下した状態であり、血液透析導入の原因疾患の1位となっている	54
特定行為	看護師が診療の補助として行う医行為のうち、医師が作成した手順書に基づき、実践的な理解力、思考力、判断力、高度な専門的知識と技能が特に必要な人工呼吸器の設定の変更など38の行為	56
特定地域づくり事業協同組合制度	人口の急減に直面している地域において、地域の担い手の確保・定着及び地域における事業の維持・拡大を図るため、地域での安定的な雇用の場や一定の給与水準が確保できるように環境を整えることを目的とした制度	80, 81, 100, 127, 172, 192, 197
特別免許状	教員免許状を持っていないが優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、学校教育の多様化への対応や、その活性化を図るため、都道府県教育委員会の行う教育職員検定（人物・学力・実務・身体に係る審査、学識経験者等への意見聴取）により学校種及び教科ごと授与する「教諭」の免許状	125

【な】		掲載ページ
「ながの果物語り」プロジェクト	長野地域の特色である「果物」を活用し、市町村や民間企業、学生などとの共働により、産業振興、地域活性化を推進する様々な取組を行うプロジェクトで、平成30年度から実施	198, 199
長野県自然保護レンジャー	県の委嘱により、自然公園などにおける動植物の保護や施設の適切な利用指導を行うボランティア	158

長野県スクールデザインプロジェクト (<small>エヌエスディー</small> NSDプロジェクト)	これからの時代や新しい学びにふさわしい学習空間の整備を目指す、学びと学習環境を一体のものとして捉えた新しい学校づくりのプロジェクト。その根本には、校舎そのものの設計やデザインと本質的な「学び」は切り離すことができないということや、ハードとソフト双方の改革こそが県の目指すべき教育の両輪であるという考え方がある	112
長野地域こどもカフェプラットフォーム	地域が一体となって子どもの居場所づくりを推進するため、県、市町村、NPO、支援団体、民間企業、ボランティアなどにより構成される連携・支援を行う組織	198
二次医療圏	医療法において定められた都市と周辺地域を一体とした広域的な日常社会生活圏で、一般的な入院医療や包括的な医療が行われる区域 長野県では、10の広域行政圏をもって二次医療圏としている	55
二次交通	複数の交通機関等を使用する場合の2種類目の交通機関のこと	83, 130, 131, 144, 165, 171, 205,
二地域居住	主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点（ホテル等も含む。）を設ける暮らし方のこと	4, 6, 85, 86, 142, 145, 152
日本遺産	地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定したもの	148, 150, 158, 178, 179, 199
日本三選星名所	天文学者が選ぶ「日本で一番綺麗な星空ベスト3」。野辺山高原のほか、沖縄県石垣島、岡山県井原市美星町	140
妊活検診	現在の健康状態が妊娠に適しているか、妊娠に向けたリスクがないかを確認するための検査の総称（長野県独自の呼称）	95
農ある暮らし	生活の中に「農」を取り入れ、土を耕し作物を育て、四季の野菜や果物を収穫し味わう喜びを感じながら暮らすライフスタイル	72, 76, 77, 85, 86, 103, 145, 192
農観連携	農山漁村が有する魅力ある地域資源と観光需要を結びつける取組	192
<small>アールエムオー</small> 農村RMO	複数の集落の機能を補完し、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織（地域運営組織：Region Management Organizationの略）	77, 197
農福連携	農業分野での障がい者等の就労を推進し、障がい者等の自立と農業の担い手確保等を目指す取組	71, 100, 173

【は】		掲載ページ
バイオマス 木質バイオマス バイオマス発電	「バイオマス」とは「バイオ（生物資源）」の「マス（量）」を表し、生物由来の有機性資源のうち化石資源を除いたもので、森林の間伐材、家畜の排泄物、食品廃棄物などから生まれた生物資源の総称。そのうち木材からなるものを木質バイオマスという。バイオマス発電では、この生物資源を「直接燃焼」や「ガス化」するなどして発電する	17, 43, 63, 71, 153, 165, 166, 178, 193, 196, 197, 205,
白馬の奇跡	平成26年11月に発生した神城断層地震（最大震度6弱）において、多くの家屋が倒壊した中であって、住民らによる迅速な対応により、1人の犠牲者も出なかったことが評価された表現	17, 132
ハザードマップ	洪水や土砂災害などの自然災害が発生した場合に被害が想定される区域を地図に示し、避難場所などの情報を記載したもの。住民に周知することにより防災意識の向上、自主的な被害軽減行動を促進する	47, 48, 180

パッシブハウス	「エネルギーの使用は極限まで減らしながらも、快適性は決して犠牲にしない」という考えをもとにドイツのパッシブハウス研究所が規定する基準を満たす省エネルギー住宅。高断熱材や高性能な複層窓、熱を逃がさない換気システムを導入し、冷暖房を使わなくても夏は涼しく冬は暖かく、結露も出ず、その性能認定基準は世界各国の省エネルギー基準の中で最も厳しいと言われている	143
半農半 ^{エックス} X	農業を営みながら他の仕事にも携わる働き方	86, 127
ビジネスジェット	観光・商用目的で企業・団体・個人が利用する、社用機や個人所有機、航空会社等からチャーターした事業用機による航空運送（プライベートジェットなど）	83
微小粒子状物質（PM2.5） ^{ピーエム}	大気中に浮遊している粒径 2.5 μ m 以下の粒子。肺の奥深くまで入りやすいため、健康への影響が懸念されている	45, 46
非認知能力	協調性、計画性、粘り強さ、意欲の高さ、リーダーシップなど、学力テストや知能テストなどによる指標化が難しい、性格や気質に属する能力	35
ファシリティマネジメント	土地、建物、工作物などの財産を経営資源として捉え、総合的・長期的な観点によりコストと便益の最適化を図りながら、財産を戦略的かつ適正に保有・処分・維持・利活用を行う手法	81
風食被害	毎年春先に吹く強風により、冬期間作付けされていない農地等から土埃が舞い上がることで、農作物の生産や生活面において発生する被害	187
覆砂 ^{ふくさ}	底泥に覆われている湖岸に砂を敷き詰め、砂地の湖岸を造成すること	46, 157
副次的な学籍	特別支援学校に在籍する児童生徒と、居住地の小・中学校の児童生徒の交流と共同学習の充実を図るために、居住地の小・中学校にも「籍」を置くことにより、同じ地域の仲間としての意識を高め、交流を継続的に進めるための仕組み	109
プラスチックスマート	国際的に問題となっている海洋プラスチック問題に対して、環境省で推進しているプラスチックと賢く付き合っていく取組。長野県では令和元年5月に信州プラスチックスマート運動を開始。県民への「3つの意識した行動」として「意識して選択」、「少しずつ転換」、「分別して回収」を呼び掛けている	171, 172
フレイル オーラルフレイル	フレイルは、加齢とともに筋力や認知機能が低下し、生活機能障害・要介護状態などの危険性が高くなった状態。オーラルフレイルは、咀嚼（食物を飲み込める程度にまで噛むこと）や嚥下（飲み込むこと）などの口腔機能が低下する前の段階	53, 103
ヘルスツーリズム	健康の維持・増進・回復を主なテーマとする旅行	18
保険者協議会	保健事業等の共同実施、医療計画等の策定・変更に関し、意見提出などを行い、健康づくりを推進するため、医療保険者、国保連合会、県で構成される組織	53
本州中央部広域交流圏	北陸新幹線・幹線鉄道や空港、リニア中央新幹線、高規格道路等により東日本と西日本、太平洋と日本海を結び、本州の中央部に形成される大規模な交流圏	39, 75, 82

【ま】		掲載ページ
マーケットイン	買い手の立場に寄り添いながら、買い手が必要とするものを提供していくこと	66
ミクストコミュニティ	若者による高齢者の見守り等の生活支援、高齢者による子育て支援など、多様な世代の交流や支え合いを通じて形成される豊かなコミュニティのこと	86
ミッシングリンク	高規格道路に未整備区間があるため、途中で切れていること	83

南信州環境メッセ	令和2年度から南信州地域振興局管内で開催されている、事業者、団体、行政で構成する実行委員会主催の、環境やSDGsをテーマに、地域の事業者や団体、行政の活動や取組を知るゼロカーボン活動推進見本市	172
メガネサナエ	長野県レッドリストで絶滅危惧1B類に区分されており、諏訪湖創生ビジョンでは指標水生動物に位置付けられているトンボの名称	157
メタバース	「メタ（超越した）」と「ユニバース（宇宙・世界）」を組み合わせた造語。ユーザー間でコミュニケーションが可能な、インターネット等のネットワークを通じてアクセスできる、仮想的なデジタル空間	64, 80, 88, 122, 123

【や】		掲載ページ
ヤングケアラー	家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている子どものこと	96, 97
有収率	給水量（供給した配水量）に対する有収水量（料金徴収の対象となった水量）の割合。この割合の向上策としては、漏水対策などがある	46
ユニバーサルツーリズム	年齢や障がいの有無等に関わらず、すべての人が楽しめるよう創られた旅行	88, 98, 192

【ら】		掲載ページ
リカレント	学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと	31, 34, 36, 67, 78, 79, 100, 111, 113, 199
リスキリング	新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応して価値を創造し続けるために、必要なスキルを獲得する（させる）こと	34, 36, 67, 78, 79, 100, 111, 113, 126, 199
リニア3駅活用交流圏	長野県、山梨県、岐阜県に設置される駅勢圏内にある、諏訪・木曾・松本地域及び近隣地域で構成される交流圏	82
リニアバレー構想	平成28年2月に伊那谷自治体会議（構成：長野県、飯田市、伊那市、駒ヶ根市、広域連合）が、リニア中央新幹線の整備効果を地域振興に生かすため、リニア時代を見据えた伊那谷（上下伊那）の地域づくりの指針として策定	83, 170, 171
リノベーション	既存建物を改修して用途や機能を変更し、付加価値を高めること	86, 119, 135
流域治水	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域に関わるあらゆる関係者が協働して行う総合的かつ多層的な水災害対策	48, 49, 163, 185, 193
林福連携	林業分野での障がい者等の就労を推進し、障がい者の自立と林業の担い手確保や里山保全等を目指す取組	100
（オリンピック・パラリンピックの）レガシー	オリンピック憲章に記載されるオリンピック競技大会の「有益な遺産（positive legacy）」。スポーツ・社会・環境・都市・経済の各分野で長期的に残っていく「有益性の高い影響全般」を指す言葉	18, 86, 197
連携中枢都市圏	相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と形成する圏域。経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上を行うことにより、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点形成するもの	17, 82, 196, 198, 199

【わ】		掲載ページ
ワーケーション	「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。リゾート地などで休みを取りつつ（又は引っ越しして）テレワークをする働き方のこと なお、本県では普通の職場や居住地から離れ、信州ならではの魅力あふれる地域に滞在して仕事をする新たなライフスタイルを「信州リゾートテレワーク」として提案している	144, 145, 170
ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）	将来、世界で活躍できる革新的なグローバル人材を育成するため、グローバル人材育成に向けた教育資源を活用し、高等学校等における先進的なカリキュラムの研究開発・実践と持続可能な取組とするための体制整備をしながら、高校生へ高度な学びを提供する仕組みの形成を目指す取組	107

【その他】（アルファベット順）		掲載ページ
エーアイ A I	Artificial Intelligence の略。人工知能。人間の言語を理解したり、論理的な推論や経験による学習を行ったりするコンピュータプログラムなど	5, 15, 49, 64, 78, 79, 122, 156, 159, 171, 173, 218, 222
エーティー A T （アシスティブ・テクノロジー）	Assistive Technology の略。障がいによる物理的な操作上の不利益や障壁（バリア）を、機器を工夫することによって支援しようという考え方であり、そのための支援技術	79, 109
ビーム／シム B I M / C I M	Building Information Modeling / Construction Information Modeling の略。調査・計画・設計段階から「3次元モデル」等を導入し、その後の施工、維持管理においても、情報を充実させながら活用すること。事業全体にわたり関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化が図られる	72, 78, 102, 199
ビーオーディー B O D	Biochemical Oxygen Demand の略。生物化学的酸素要求量。微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量として表され、数値が高いほど、水の汚れが大きいことを示し、河川の自浄作用や魚類をはじめとする水生生物の生活には不可欠な水中に溶解している酸素ガスが欠乏しやすい	45
シーオーディー C O D	Chemical Oxygen Demand の略。化学的酸素要求量。数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示す	45, 157, 158
ディーエムオー D M O	観光地域づくり法人（Destination Marketing/Management Organization）の略。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略の着実な実施のための調整機能を備えた法人のこと	64, 65, 74, 88, 165
ディー（医師） to P（患者） with N（看護師）	Doctor（医師）、Patient（患者）、Nurse（看護師）の頭文字。患者の同意の下、オンライン診療時に、患者は看護師等が側にいる状態で診療を受け、医師が診療の補助行為を遠隔地から看護師等に指示することで、薬剤の処方にとどまらない治療行為等が看護師等を介して可能となる	123

<p>ディーエックス D X (デジタルトランスフォーメーション)</p>	<p>Digital Transformation の略。DX と表記するのは英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため。「デジタル技術」と「データ」を活用して、既存の業務プロセス等の改善を行い、新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革すること</p>	<p>1, 6, 20, 62, 63, 64, 72, 78, 79, 82, 102, 122, 123, 144, 151, 156, 170, 171, 173, 193, 199, 203</p>
<p>イーエスジー ESG</p>	<p>持続可能な世界の実現のために、企業の長期的成長に重要な、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取って作られた観点</p>	<p>5, 62, 211</p>
<p>フィップ FIP</p>	<p>Feed-in Premium の略。再生可能エネルギー発電事業者が卸電力取引市場や相対取引で売電したとき、その価格にプレミアム (補助額) が上乘せされる制度</p>	<p>193</p>
<p>フィット FIT</p>	<p>Feed-in Tariff の略。再生可能エネルギーの「固定価格買取制度」のことで、再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定期間、一定価格で買い取ることを国が約束する制度</p>	<p>193</p>
<p>ギャップ GAP</p>	<p>農業生産工程管理 (Good Agricultural Practices) の略。食品安全・環境保全・労働安全から定められる点検項目※に沿って、農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取組 ※国際水準の取組では「農場経営管理」「人権保護」の視点が加わる</p>	<p>157, 203</p>
<p>ジーエックス GX (グリーントランスフォーメーション)</p>	<p>Green Transformation の略。GX と表記するのは英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため。産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、社会経済システム全体の変革を行うこと</p>	<p>5, 34, 44, 62, 63, 64, 67, 151</p>
<p>ハサップ HACCP</p>	<p>衛生管理の国際的な手法 (Hazard Analysis and Critical Control Point) の頭文字。事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因 (ハザード) を把握した上で危害防止につながる、特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする手法。ハサップ、ハセップ、ハシップともいい、統一された呼称はない</p>	<p>59</p>
<p>アイシーティー ICT</p>	<p>情報通信技術。情報技術の「IT (Information Technology)」に通信の「C (Communications)」を組み合わせた用語</p>	<p>53, 55, 57, 78, 79, 80, 86, 109, 110, 112, 125, 162, 164, 170, 174, 187, 199, 202</p>
<p>アイオーティー IoT</p>	<p>Internet of Things の略。モノのインターネット。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、又はそれを可能とする技術の総称</p>	<p>5, 49, 64, 79, 122</p>
<p>エルジービーティー LGBT</p>	<p>レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender) の英語の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称の一つ。LGBT だけでは、性的マイノリティ全体を表すものではないため、近時は性的マイノリティを総称する言葉として Q (Questioning 又は Queer) を加え、LGBTQ や LGBTQ+ と表記されることも増えている</p>	<p>6</p>

<p>エルエックス L X (ライフ・サービス・トランスフォーメーション)</p>	<p>Life service Transformation の略。L X と表記するのは英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため。社会が激しく変化する中で、暮らしの様々な場面で生活者と直接的につながる生活サービス産業の変革のこと。日本経済団体連合会が提唱している</p> <p>なお、持続可能な地域づくりを指すローカル・トランスフォーメーション (Local Transformation)、DX や AI が普及した時代において子ども、大人、お年寄りにいたるまで全ての人々を対象に、人生の活動や生活のすべてを学習の機会と捉えるラーニングトランスフォーメーション (Learning Transformation) もある</p>	63
<p>エムアンドエー M & A</p>	<p>Mergers (合併) and Acquisitions (買収) の略。2 つ以上の会社が合併して一つになったり、ある会社が他の会社を買収すること</p>	64, 73
<p>マ ー ス M a a S</p>	<p>Mobility as a Service の略。地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと</p>	52, 131, 135, 142, 205, 221
<p>マ イ ー ス M I C E</p>	<p>多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字</p>	67, 86, 88, 199
<p>ニアリー ゼ ー ブ Nearly Z E B</p>	<p>Z E B に限りなく近い建築物として外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量を 75% 以上削減した建築物</p>	43
<p>ピーエフアイ P F I</p>	<p>Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法</p>	58
<p>ピーピーエー P P A</p>	<p>電力販売契約 (Power Purchase Agreement) の略。太陽光発電設備の設置・管理を行う P P A 事業者と再生可能エネルギーを使用したい需要家が契約し、電力供給を行う仕組み。需要家の敷地内や屋根に設備を設置する「オンサイト P P A」と、需要家の敷地外 (遠隔地) に設備を設置して送配電線を介して送電する「オフサイト P P A」がある</p>	121
<p>ポ ッ プ P O P</p>	<p>購買時点広告 (Point of purchase advertising) の略。小売店の店頭プロモーション等で使用される広告媒体</p>	69
<p>エスディージェーズ S D G s</p>	<p>Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015 年 9 月に国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」に盛り込まれた 17 の目標と 169 のターゲット</p>	1, 4, 5, 14, 15, 26, 31, 39, 44, 62, 65, 191, 192, 213, 226
<p>エスジェック S G E C 認証森林</p>	<p>Sustainable Green Ecosystem Council の略。適正に管理されていることが国際的に認証されている森林のこと</p>	151
<p>ソサイティー Society 5.0</p>	<p>サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く新たな社会として、第 5 期科学技術基本計画において提唱</p>	5, 34, 171
<p>エスオーエス S O S の出し方に関する教育</p>	<p>子どもたちが命や暮らしの危機に直面したとき、誰にどうやって助けを求めれば良いか具体的かつ実践的な方法を学ぶ教育</p>	59, 97

ス ^テ ィーム STEAM教育	各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくため、STEM（科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、数学（Mathematics））を統合的に学習する教育に、芸術（Arts）の創造性教育を統合する教育手法。Artsは芸術のみならず、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で定義することが重要と言われている	107
ユニバー UDタクシー（ユニバー サルデザインタクシー）	ユニバーサルデザインタクシーの略。車いすのまま乗車できるなど、障がい者や高齢者等に配慮された誰もが使いやすいタクシー車両のこと	52
ブ ^ー カ VUCA	変動性（Volatility）、不確実性（Uncertainty）、複雑性（Complexity）、曖昧性（Ambiguity）の頭文字。不安定で不確実で複雑で曖昧な状況のこと	4, 124
ゼ ^ブ ZEB	Net Zero Energy Building の通称。省エネや創エネにより、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと	42, 43
ゼ ^{ッチ} ZEH	Net Zero Energy House の通称。住宅断熱性能の向上、高効率設備システムの導入、再生可能エネルギーの導入等を図ることにより、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅のこと	42, 43, 121 143
ゼ ^{ット} Z世代	1990年代半ば～2010年代生まれの世代のこと。元々はアメリカから伝わった世代分類を指す言葉で、ジェネレーションZから生まれた	6, 132

長野県企画振興部総合政策課

住 所 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692 の 2

電 話 026-232-0111 (代表) 内線 3718

026-235-7014 (直通)

ファクシミリ 026-235-7471

電子メール seisaku@pref.nagano.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp>